

平成23年度使用

小学校用教科用図書 の 選定に必要な資料

島根県教育委員会

※ 各発行者記号は次のとおりである。

記号	発行者名
A	東京書籍
B	大日本図書
C	開隆堂
D	学校図書
E	三省堂
F	教育出版
G	信濃教育会
H	教育芸術社
I	光村図書
J	帝国書院
K	啓林館
L	日本文教(旧大阪書籍)
M	日本文教
N	文教社
O	光文書院
P	学習研究社

選 定 に 必 要 な 資 料

国 語 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○1年生の入門期の児童が, 意欲的に国語学習に取り組めるよう, 導入の教材において, 内容や字の大きさが工夫されている。</p> <p>○6年下では, 「海のいのち」「ヒロシマのうた」など登場人物の生き方を考えることにより, 自分自身の生き方にも目を向けることのできる単元が設定されている。</p>	<p>○1年下「いろいろな ふね」の説明文教材では, まとめ方, 書き方などの例を具体的に示し, 児童が主体的に学習する際に, 分かりやすいよう工夫されている。</p> <p>○4年下『「ゆめのロボット」を作る』では, 筆者の考えをインタビュー記事と説明文の両方から読み取ることによって, より深く読み取ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○5年下「伝えよう、委員会活動」では, 4年生に活動の内容を知ってもらおうという必要感のある身近なテーマを題材に取り上げている。また, 興味・関心をもって取り組めるようにリーフレット作りといった活動を取り入れるなど工夫されている。</p> <p>○3年上「自然のかくし絵」では, 挿し絵や写真が美しく, 学習への興味が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○6年下「ふるさとの良さをしようかいしよう」では, ふるさとの良さをいろいろな方法で調べ, これまでに学習した形式の中から選択して紹介するなど, ふるさとを見つめ, 児童が主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○2年上「言いつたえられているお話をしよう」では, 「やまたのおろちのお話」が出てくるなど, 郷土への関心を高めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「読む」「書く」「話す・聞く」の各領域の教材が, バランスよく, 系統的に配列されている。</p> <p>○大単元の導入のページに, 単元名とねらいに加え, 挿し絵や写真, 言葉による問いかけがあり, 児童が主体的・意欲的に学習に取り組むよう工夫されている。</p>
○巻末には, 「言葉の力」のまとめが, 前学年での既習事項の「言葉の力」とともに記載されており, 身に付けたい力の系統が分かるよう工夫されている。					
D	<p>○1年下「しをかこう」のように, 発達の段階に応じて詩の書き方が学べるよう工夫されている。</p> <p>○4年下「点字を通して考える」「アイデアを提案しよう」に見られるように, 社会生活におけるユニバーサルデザインなどの大切さが考えられるよう配慮されている。</p>	<p>○6年上「卒業レポートを書こう (予告編)」で, レポートを作成するための計画を立て, 6年下「卒業レポートを書こう」で, レポートをまとめるという, 1年間を通して系統的に取り組む単元が組み込まれている。</p> <p>○2年上「気もちをつたえよう」では, 「あたま・おなか・しっぽ」等の言葉を使い作文の構成が分かりやすく学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○4年上「漢字の部屋」のように, 漢字のもつ特質や成り立ちなどが掲載され, 児童が興味をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○3年上「コロコロ・スピーチ」のように, 学年始めに「話すこと・聞くこと」を通して児童がコミュニケーションを楽しめるよう配慮されている。</p>	<p>○2年上「むかしの物語をたのしもう」では, 郷土への関心をより具体的にもつことができるように, 「ヤマタノオロチ」の物語が取り上げられている。</p> <p>○4年上「見学したことを書こう」5年下「地域の観光案内をしよう」のように, 他教科との関連を図りながら地域を教材として取り上げている作品が組み込まれている。</p>	<p>○書く力を育てることに重点が置かれ, メモや構成の仕方が具体的に例を挙げて示されており, 児童が主体的に書く力を身に付けていけるよう工夫されている。</p> <p>○漢字の読みかえを例文とともに表示したり, 「漢字の部屋」を設けたりするなど, 漢字の学習に親しんでいけるよう工夫されている。</p>
○巻末に「保護者の方へ」があり, 家庭との連携が図れるように工夫されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

国 語 科 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
E	<p>○1年下「きよだいな きよだいな」では, 文型や例文の提示があり, 詩の創作意欲を高めるような内容となっている。</p> <p>○3年から6年を通じて, 国語辞典や漢字辞典を取り上げ, 系統的・発展的に学習が深まるよう工夫されている。</p>	<p>○2年「きつねのおきやくさま」のように, 児童に読む楽しさが伝わるような物語の選択がされている。</p> <p>○5年「コウノトリが教えてくれた」「動物とともに生きるために」のように, 読む学習から話す学習に連続してつながるよう工夫されている。</p>	<p>○4年「二十才のわたしへ」のように, 十年後の自分を想像しながら, 意欲的に学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○5年『十秒』が命を守る」6年「宇宙時代を生きる」「なべ』の国、日本」のように, 近年において話題性のある教材を用いて, 児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○3年「クラスのことを調べよう」のように, 身近な題材を見付け, 表やグラフなどの資料を使いながら, 書く学習を進めることができるように配慮されている。</p> <p>○全学年の各単元末には, 「わたしの本だな」として, 関連図書を紹介し, 学習を深めていけるように工夫されている。</p>	<p>○2年からは「学びを広げる」という別冊が用意され, 調べ学習や発展学習に活用できるように配慮されている。</p> <p>○「あまさんの部屋」として, 学年にふさわしい本を表紙写真とあらすじで紹介し, 読書活動への興味・関心を高めるように工夫されている。</p>
○巻末には, 「わたしの学び」「わたしが読んだ本」のとじ込みがあり, 学習や読書活動の記録を残すことができるように工夫されている。					
F	<p>○3年では, 上の「ローマ字1」で学習したことを下の「ローマ字2」で復習できるように構成され, 定着を図る工夫がされている。</p> <p>○「生き方を考えながら読む」では5年下で金子みすずを, 6年下では伊能忠敬を取り上げ, 人の生き方を考えることで自分の生き方に目を向けるような高学年にふさわしい単元が設定されている。</p>	<p>○1年下「はたらくじどう車」「のりものことをしらせよう」のように, 読むことと書くことの教材が効果的に位置付けられている。</p> <p>○5年下「まんがの方法」では, 教材文の具体例としてまんが絵が多数取り上げられ, 筆者の意図を児童が興味・関心をもって読解し, 意欲的に調べ学習ができるよう工夫されている。</p>	<p>○1年～5年の下「国語の学習これまで これから」では, 1年間の学習を振り返り, 次学年の目標が設定できるように記入欄が設けられ, 主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○4年上「写真をもとにスピーチをしよう」では, 児童が興味・関心をもつような写真を提示し, 写真から読み取ったことをもとにスピーチできるよう工夫されている。</p>	<p>○2年下『「お話びじゅつかん」を作ろう』では, 読んだ本の紹介カードを張り出して美術館を作ろうという活動をとおして, 読書への意欲を高め, 読書の幅も広げられるよう工夫されている。</p> <p>○3年上・4年上の「言葉を見直す」や5年上・6年上の「言葉のはたらきを考える」に見られるように, 言葉の特徴や働きについて見直し, 表現に生かすことができるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に単元ごとのめあてを掲げ, 見直しをもって意欲的に学習できるように配慮されている。</p> <p>○巻頭に「ひろがる言葉」と題して, 美しい写真とともに言葉に着目するような詩や文が掲載されたり, 1年上の「なにが、かくれているのでしょうか」のように美しい写真が多く用いられたりして, 国語学習への意欲付けがされている。</p>
○巻末の付録「言葉のとびら」では, 表現・ノート・メモ・原稿用紙の使い方などその学年に適した言語に関する知識が分かりやすくまとめられ, 児童が進んで学習するときに参考となるよう工夫されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

国 語 科 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
I	<p>○1年下「じどう車くらべ」では, 自動車の「しごと」と「つくり」について同じ文型の繰り返しで表され, 入門期の説明文教材としてふさわしい内容となっている。</p> <p>○6年「感情」「生き物はつながりの中に」「海の命」など, 多様な感情を揺さぶるとともに, 生き方や命について考えることのできる単元が工夫されている。</p> <p>○「漢字の広場」「かたかなのひろば」として, 前の学年で習った漢字やかたかなを使って文を作り, 日常生活に生かしていくことができるように工夫されている。また, 6年の狂言「柿山伏」のように, 演じられる言葉がそのまま使われている教材も取り上げ, 声に出して読むことで日本語の言葉の響きやリズムを感じるよう工夫されている。</p>	<p>○3年上「イルカのねむり方」では, 簡潔な説明文により文章構成を学習し, 次の説明文「ありの行列」に生かして学習できるように構成されている。</p> <p>○6年『『平和』について考える』では, 原爆ドームについての教材文を読み取り, “調べる・まとめる・伝える”学習が連動し, 総合的な国語力を培うとともに平和について考え続けることの大切さを伝えている。</p>	<p>○4年上「カンジーはかせの漢字しりとり」, 5年「カンジー博士の暗号解読」では, しりとりやクイズ形式で, 児童が楽しく漢字学習に取り組み, 言葉への興味・関心を高めていくよう工夫されている。</p> <p>○2年下「図書館たんていだん」では, 児童が探偵団になって図書館の秘密を探るなど, 主体的・意欲的に学習に向かうよう工夫されている。</p>	<p>○1年上「おおきなかぶ」は, 同じ言葉を繰り返しながら, ついにかぶが抜ける様子を「やっぱり」「なかなか」「とうとう」などの副詞を使って表し, 語感を育てていくのに適している。</p> <p>○全学年に取り入れられている「聞いて楽しもう」では, 民話・むかし話を読んでもらい楽しむという, 読み聞かせの試みがみられ, 日本文化の豊かさを感じ, 親しんでいくよう工夫されている。</p>	<p>○2年以上の各学年にある「季節の言葉」では, 四季に関連した詩, 短歌などに触れ, 行事, 天候などを表す言葉と出会うことで語彙を増やし, 豊かな情操をはぐくむよう工夫されている。</p> <p>○1年下「おみせやさんごっこをしよう」, 4年下「ウナギのなぞを追って」, 5年「天気を予想する」のように, 他教科との関連を図った単元が組み込まれている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

書 写 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○1年p.6のように, なぞり書きを多く取り入れ, 入門期の児童が無理なく書写学習に入ることができるよう工夫されている。</p> <p>○2年p.20や3年p.10のように, 文字の組み立てや運筆が分かるように点画を色分けしたり濃淡墨で穂先を示したりするなど, 児童の理解を助ける配慮がされている。</p>	<p>○3～6年の各単元で, 毛筆の学習後に「広げよう」のコーナーで硬筆学習を設定し, 毛筆と硬筆を一体化して学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○低学年の「ひみつをみつけよう」「たんけんしよう」, 高学年の「調べよう」「たしかめよう」で学習課題を投げかけたり, 高学年で「学習の進め方」を明示したりして, 問題解決的な学習が行えるよう工夫されている。</p>	<p>○低学年では, 「できたよ! シール」を用い, 中・高学年では「学習をふり返ろう」「めあてを立てよう」を適宜設け, 児童が意欲を高め, 主体的に学習するための支援と配慮が見られる。</p> <p>○中・高学年では, 表紙裏に「どうしたらいいのかな」と題して各学年の学習内容に応じて, 手書き文字例をよりよく直していく導入がされており, 児童の学習への見通しと意欲をもたせるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年に掲載の「生活に広げよう」で, 手紙や新聞作り, 書き初め, 卒業制作などを取り上げ, 書写の時間に学んだことが, 学校生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○6年p.30のように「文字の話」のコーナーでは, 道具の作り方, 手書きとコンピュータの比較, 昔の人たちの手紙などを掲載し, 書写活動の周辺にも目を向けながら, 書写学習の中で今日的な課題に目を向けさせるための工夫がされている。</p>	<p>○挿し絵や図の色使いが美しく, また, 植物や動物を多く描いており, 児童の情緒をはぐくむものとなっている。</p> <p>○用具や筆使い等, 写真による図解を多く取り入れ, 教師にとっても児童にとっても分かりやすい説明となっている。</p> <p>○様々な筆記具での書写, いろいろな場面での書写活動が取り上げられ, 生活に生かす書写学習の姿勢が全学年を通して貫かれている。</p>
<p>○教科書のサイズが, 半紙の縦横比率に合わせてB5判より横に5mm広い変型判になっており, 半紙での文字の位置が分かりやすくなっている。</p> <p>○発展的な内容については, 必要最小限に抑えられ, 2年p.37で毛筆学習, 5年p.30で行書の紹介がされている。</p>					
D	<p>○低学年ではページ数が少なく, 負担のない量になっている。</p> <p>○1年p.6のように, 1つのマスをも4つの部屋に区切り, 書き始めの位置と方向を三角形で示すなどして, 児童が自分で学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○3年p.15のように, 右払いの穂先を図示し, 筆にかける力の強さを数字で表して, 児童の理解を助けるよう工夫されている。</p>	<p>○3年以上では, 毛筆学習の後に「硬筆に生かそう」を設け, 毛筆と硬筆の学習内容の関連を図り, 双方で学んだことが生かせるよう, 教材構成上の工夫がされている。</p> <p>○3年p.16のように二文字以上の課題は見開き2ページの大きさで扱い, 半紙の大きさに近づけるよう配慮されている。</p>	<p>○1年p.8の「ぴよんとはねる」などのように, イラストやキャラクターの吹き出しを使い, 注意事項やヒントを提示して, 児童の追求意欲を喚起できるよう配慮されている。</p> <p>○3年p.6「用具の後しまつ」5年p.7「しんにょうの書き方」のように写真資料が豊富で, 学習内容を視覚的に捉え, 主体的に学習が進められるよう配慮されている。</p>	<p>○4年p.39や6年p.14のように, 大筆や小筆, サインペン等, 目的に応じた道具を選び, 読む人や見る人に分かりやすく表現できるよう配慮されている。</p> <p>○2年以上の「生活に生かそう」には, はがき, 感謝カード, 年賀状, 目標カード, 絵手紙などを掲載し, 書写の力を実際の生活の中で活用するための配慮が見られる。</p>	<p>○豊富な写真やイラスト等により, 児童が視覚的に学習課題を捉えられるよう配慮されている。</p> <p>○毛筆にも筆順を示す小数字が付けられ, 確実に筆順が身に付くよう工夫されている。</p> <p>○全学年で「学習に生かそう」「生活に生かそう」が教科書の冒頭と巻末に配置され, 書写学習が他教科や生活に生かせるよう配慮されている。</p>
<p>○裏表紙に, 「保護者の方へ」として, 単元・学習の内容・身に付くことが表示されており, 家庭との連携が意識されている。3年p.9では, 「毛筆」について, 始筆・送筆・終筆を写真で示し, 児童の興味を喚起するよう工夫されている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

書 写 科 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
E	<p>○3年p.8の「ほ先はいつも上のはし」ように, 学習内容のポイントを凝縮した一文で表し, 合言葉のように児童が意識して学習することができるよう工夫されている。</p> <p>○低学年では, 課題の数をできるかぎり少なく抑えて, ポイントを絞って効果的な学習ができるよう配慮されている。</p>	<p>○3年p.10のように, 中学年では穂先を大きく掲載して, 筆の動きが理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>○高学年では, 硬筆での書写力を高めるための毛筆学習という基本姿勢がとられ, 硬筆の学習の後に毛筆の学習へとつなげていく構成になっている。</p>	<p>○2年p.20「おかしいところをみつけましょう」のように, 児童が文字の形や画の長さなどの間違いに気付き, 主体的に学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭折込部分では, 全学年とも興味深い問いかけで, 書写学習に興味・関心がわくよう配慮されている。</p>	<p>○「ひろげよう」では, 思い出(1年), お礼の気持ち(2年), お知らせのはがき(3年), レポート用紙の書き方(5年)などを掲載し, 書写の学習で身に付けた力を他の教科で生かせるよう工夫されている。</p> <p>○4年p.2のように, 書写活動で用いる道具のでき方などを掲載し, 日本の伝統的な文化や技術にも目が向けられるよう配慮されている。</p>	<p>○単元で押さえない内容を解説を少なくしてシンプルに示すよう工夫されており, 児童にとって負担が少なく捉えやすい内容となっている。</p> <p>○「ひろげよう」という活用の単元では, 2年p.36「お礼の気持ちをつたえよう」のように, 文字で伝えるという視点の教材が多く取り上げられ, 学習したことが言語生活に生かされるよう工夫されている。</p>
	<p>○高学年では, 手本を見ずに自分で考えて書く教材が準備され, 児童の主体的な学習を促すよう工夫されている。6年p.23に発展的な内容として, 行書を取り上げている。「こんな字を見たことがありますか」と問いかけ, 中学校の書写学習への意欲を高めるよう工夫されている。</p>				
F	<p>○5年p.11のように, 文字の「へん」と「つくり」をはっきりとした色彩で色分けして示しており, 文字の組み立て方が視覚的に捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>○2年以上では, 巻末に前学年で習う漢字と当該学年で習う漢字をすべて掲載し, 児童が文字を進んで調べられるよう工夫されている。</p>	<p>○低学年の教材には, 食べ物等児童の日常生活でよく使われる語が多く用いられており, 教材への抵抗感を少なくしている。</p> <p>○3年p.11のように, 濃淡墨を用いて穂先や運筆を視覚的に掲載したり, 「とん・すうっ・とん」等の言葉で感覚的に捉えさせたりするなど工夫されている。</p> <p>○1～4年では, よい姿勢を「ぐう・ぺた・ぴん・さっ」という覚えやすく適切な言葉で統一して表し, 継続して基本を定着させるよう配慮されている。</p>	<p>○4年p.39のように, 4年生以上では, これまで学習してきたことの中から, 自分でめあてを設定する単元を位置付け, 児童自らがめあての解決に向かって学習を進めるための工夫がされている。</p> <p>○冒頭の折込部分に写真・イラストを多く用い, 児童の視覚に訴えることで, 書写学習に対する興味・関心を高めるよう配慮されている。</p>	<p>○2年生以上の「トライあんどチャレンジ」では, 既習事項を基に, 様々な書式の書写に挑戦するコーナーを設け, 書写学習が実際の生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○全学年冒頭で, 文字と生活との関わりを取り上げ, 書写と生活の結び付きを児童に意識させるよう工夫されている。</p>	<p>○3年の毛筆入門期では道具や運筆の扱いが丁寧で, 多くの写真を用いて視覚に訴える配慮がされ, 児童が学習事項を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>○硬筆教材に「ないた赤おに」「夕鶴」, 詩歌等の文学作品を取り上げ, 児童の豊かな感性をはぐくむための配慮がされている。</p>
	<p>○「はってん」というマークで, 発展的な内容が明示されている。このマークについての説明が, 裏表紙に教師・保護者向けに掲載されており, その内容は無理なく分かりやすく工夫されている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

書 写 科 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
I	<p>○全学年ともページ数が, 児童の負担の少ないものになっている。低学年では, 文字の量を精選して文字や図版を大きく示し, 児童が分かりやすくゆとりをもって取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○中学年では, 薄墨での点画写真を大きく示す, 筆の穂先をイラストで示す, 手を筆に見立てて空書きするなど, 毛筆の特徴を理解して書くことへの配慮がされている。</p>	<p>○低学年では硬筆による基本点画の学習が丁寧であり, 特に2年では画の方向のいろいろ, つけ方と交わり方のいろいろなどが取り上げられている。</p> <p>○中学年では, 毛筆で書くときの力の入れ方(筆圧)や点のいろいろなどを取り上げ, きめ細かな説明で児童がつまずきやすい点についての配慮が多く見られる。</p>	<p>○3年p.8「目指せ、点画名探偵」のように, シールの点画を使って漢字を完成させる活動が取り上げられ, 興味・関心をもって書写活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○4年以上巻頭の「書写パーク」では1年間の学習の流れをイラストで分かりやすく示すとともに, 学年が上がるにつれて紙面を広げていくように工夫されており, 学習への期待感を高めるよう配慮されている。</p>	<p>○6年p.17「ユニセフについて」p.23「昔の文字、今の文字」5年p.16「身の回りのものを使って作ろう」p.23「世界の文字」等のコラムを掲載し, 書写学習の中で, 今日的な課題に目を向けさせるための配慮がされている。</p> <p>○5年p.34「六年生を送る会に向けて」, 6年p.34「卒業にあたって」では, 書写で学んだことが, 実際の学校生活ですぐに生かせるよう工夫されている。</p>	<p>○ポイントとなる箇所は大きく目立つように示す, つまずきやすい箇所は丁寧な解説を施すなど, 児童の立場に立って教材の研究がされている。</p> <p>○低学年は正確な硬筆の点画, 中学年は毛筆の点画と字形, 高学年は文字の大小と配列とねらいを絞った構成にしてあり, 効果的に学習が積み重ねられるよう工夫されている。</p>
<p>○発展的な内容は, 巻末の「もっと知りたい」で示されている。中学校で学習する「行書」について5・6年の教科書の巻末で取り上げ, 楷書との比較で特徴が示されている。小学校で学んだことを生かし, 無理なく中学校の学習内容へ進めるような配慮がされている。</p>					
M	<p>○低学年ではページ数は多いが言葉による説明が少なく, イラストを多く用いて学習内容を視覚的に, 児童に伝えるような配慮が見られる。</p> <p>○3年以上で, 学習のまとめのページに緑墨を用い, 低学年では文字のバックを青・茶・緑色に分けて文字を白抜きにして示すなど, 色彩を効果的に用いて児童の理解を助ける配慮がされている。</p>	<p>○目次がすっきりしており, その学年で学習する内容がまとめられているとともに, 振り返りもできるよう工夫されている。</p> <p>○3年の毛筆学習では, 筆使い①・②という単元構成にして, 焦点を絞って学習に取り組めるようにしている。4年以上でも, 字形・組み立て方・文字の大きさと配列で単元が構成されており, 基礎・基本を身に付ける学習が意図されている。</p>	<p>○全学年にパンダのキャラクターを用い, 2年p.10のように, キャラクターの吹き出しによって注意事項やヒントを提示して, 児童の追求意欲を喚起できるよう工夫されている。</p> <p>○6年p.9のように, あえてバランスの悪い字形を提示し, どうすれば字形を整えて書くことができるかを児童が主体的に考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「生活に生かそう」のコーナーを設け, 6年では「手紙」や「レポート」「好きな言葉」など, 書写で学習したことが, 実際の生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○5年p.6のように, 「用具のできるまで」を, 写真を用いて詳しく掲載し, 日本の伝統的な文化や技術にも目が向けられるよう配慮されている。</p>	<p>○イラストやキャラクター, 色彩を効果的に用い, 児童の興味・関心を高めるだけでなく, 無理なく学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○単元のまとめの「生活に生かそう」の教材には, 環境や福祉に関かわる内容の文章や「ふるさと」「わたしと小鳥とすずと」のような詩など, 児童の豊かな感性をはぐくむことが期待できるものが多く取り上げられている。</p>
<p>○発展的な内容については, 「行書で書いてみよう」で示されている。中学校で学習する行書について, 5・6年の教科書で取り上げ, 俳句や詩を用いて児童の興味を喚起するよう工夫されている。小学校で学習したことを生かし, 意欲をもって中学校への学習内容へと進めるような配慮がされている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

社 会 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○地図帳や地球儀の活用を促す学習場面が適所に設けられ, 地図に対する基本的な知識や技能が身に付きやすいよう工夫されている。</p> <p>○学習の基礎・基本となる言葉を「ことば」として枠囲みで明示し, 学習内容の理解に役立てると共に, 学習のまとめや以降の学習に役立つよう工夫されている。</p>	<p>○各学年上の第1単元に「学習の進め方」を設け, 「つかむ」「調べる」「まとめる・いかす」の学習段階をたどりながら問題解決の流れに沿った主体的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○3～5年の単元末に補助教材が明確に示してあり, 各学校が実態に応じて選択して扱ったり, 比較・発展に活用したりできるよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年上p. 74「工場の仕事」で取り上げているかまぼこ工場は, 比較的各地域にもあり, 具体的な学習につなげやすい事例である。</p> <p>○5年下p. 2, 3や6年上p. 62やp. 86, 87に見られるように, 過去と現在のくらしを対比する教材提示によって, 児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年下p. 110, 111と6年上p. 25に, 身近な地域(松江市・出雲市)の優れた伝統や文化・史跡が教材として取り上げられ, 郷土理解や郷土愛をはぐくむのに効果的である。</p> <p>○5年上p. 8, 9で北方領土問題について詳しく説明されている。また, 地図内の竹島については, 名称の記載はないが, 日本の領土として明記されている。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を確実に取得できるように工夫しており, 思考力・判断力・表現力を発揮しながら問題を解決させるとともに, 言語による表現活動が随所に取り入れられている。</p> <p>○身近なキャラクターの吹き出し等によって学習の進め方が示され, 児童の主体的な学習を引き出すよう工夫されている。</p>
○巻末に, 教科書で取り上げた「都道府県」・「ことば」・「ことがら」・「地名」・「国名」・「人物」の索引が設けられ, 学習の整理や振り返り, 参照等に使用できるように配慮されている。					
F	<p>○学習をまとめる表現活動の特設ページ「伝え合う」を大単元ごとに位置付け, 学習の内容や流れに即した多様な言語活動が例示してある。</p> <p>○5年上p. 22からの「特色ある地域」の学習では, 沖縄と北海道, 高地と低地を左右のページで比較しながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○「学びのてびき」を適所に配置し, グラフや地図, 写真の読み取り方を示すなど, 資料活用能力の育成のための工夫がされている。</p> <p>○巻頭に教科書の使い方等について掲載し, 学習の進め方を理解しやすくするとともに, 児童による学びの姿が見える多彩な活動の写真を採用して学習活動をイメージしやすいよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年上p. 117「昔の道具とくらし」では, 昔のくらしの様子を描いたイラストが具体的であり, 昔の道具やくらしぶりに対する興味・関心がもちやすいよう工夫されている。</p> <p>○3・4年下p. 47などのように「やってみよう」のコーナーが設けてあり, 児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年上p. 20, 21「わたしたちのまちはどんなまち」の中に, 「図書館を利用して調べよう」の小単元が設けてあり, 積極的な図書館の活用が促されている。</p> <p>○5年上p. 12, 13「日本の周りは?」では, 北方領土と竹島, 尖閣諸島についても名称とともに明記し, 領土を意識した取り上げ方をしていく。また, 3・4年下p. 107の分県地図には, 竹島の位置と名称が明記されている。</p>	<p>○AB判を採用し, 5年下p. 46に見られるように, 見開きで写真やイラストなどの資料がダイナミックに示され, より見やすく使いやすい紙面構成になっている。</p> <p>○単元末に「広げ深める」コーナーを設け, 学んだことを生かして総合的な学習等への発展が図られるよう工夫されている。</p>
○3・4年下p. 18, 19や6年下p. 28, 29では, 安全で快適なまちづくりや政治への参加に向けた提案など, 多様な観点から地域・社会への参画が例示されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
I	<p>○巻頭に「わくわくどきどき社会科って楽しいな」「学習のヒント」というコーナーを設け、問題解決的な学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年の教科書は、学んだことを振り返りながら、学習に取り組むことができるように1冊にまとめられている。</p>	<p>○学習展開の中で取り組んでほしい・活用してほしい学習方法を「学びナビ」で、学習活動への誘いを「学びキャラクター」で示し、児童が自ら学ぶためのヒントとなるよう工夫されている。</p> <p>○資料などからの気付きや思いを直接書き留める「私の書き込み欄」やノートづくりを促す「わたしのノートマーク」が設けられている。</p>	<p>○更に力を伸ばしたい子どもたちのために、単元末に「学びのひろば」、巻末に「もっとひろげる」などの補足的な教材が位置付けられている。また、発展的な学習内容については「若葉マーク」を付し、個に応じた活用ができる資料として提示されている。</p> <p>○3・4年下p. 48, 49に見られるように、児童の問題追究への意欲を喚起する資料が、インパクトのある写真を中心に提示されている。</p>	<p>○地図については、3・4年下p. 106～111に見られるように、様々な地図資料を各単元の適所に示すことで、学習内容との関連の中で、基本的な知識や技能の習得と活用が図れるよう配慮されている。</p> <p>○5年p. 15「国土の学習」では、北方領土問題についてふれるとともに、竹島についても地図上に名称とともに明記されている。</p>	<p>○全体を通して暖色のイラストが多く用いてあり、柔らかく温かなイメージである。</p> <p>○問題解決の手順等を例示したり、ワークシートの箇所を設けたりして、児童が主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</p>
○写真や絵・グラフなどが効果的に取り上げられており、児童が見通しをもちながら学習を進めることができるよう工夫されている。その際、気付きや疑問を書き留めることができるよう紙面上の工夫がされている。					
L	<p>○3・4年上p. 72, 73や5年下p. 66～68では、消費者教育や情報モラルに視点を当てた内容が取り上げられている。</p> <p>○各小単元末には「たしかめよう」を設け、ガイドブック、手紙・図・新聞・紙芝居などの多様な表現活動が例示されている。</p>	<p>○3・4年上p. 26～33のようにAB判をいかし、4ページ分の見開きのページなど、ダイナミックな紙面構成になっている。また、写真資料も多く掲載されている。</p> <p>○6年上では、天下統一から江戸時代前半の政治的内容と、江戸時代の民衆の生活と文化の内容が分かれており、民衆の動きが学習しやすくなっている。</p>	<p>○子どもたちの身近なキャラクターを登場させ、ガイダンスを行わせることで、楽しく学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○全学年にわたって「大きくジャンプ」を各単元末に設定し、児童が興味・関心をもつような内容を取り上げることで、総合的な学習の時間への発展を意識させる構成になっている。</p>	<p>○3・4年上p. 71「店ではたらく人びとの仕事」では、野菜やくだもの産地の資料の中に島根県のブドウが取り上げられている。</p> <p>○3・4年下p. 2～17では、「地図を楽しもう」を設定することで、八方位や縮尺、等高線など、資料の読図に必要な基礎的な技能や、地図帳の活用方法を習得できるよう配慮されている。</p> <p>○竹島については、名称の記載はないが、地図上に明記されている。</p>	<p>○3・4年下p. 60, 61に見られるように、大単元の導入ページでは、AB判をいかしたインパクトのある写真で紙面を構成し、児童の学習意欲を喚起しようとしている。</p> <p>○「学び方・調べ方コーナー」を設けて、観察力・資料活用力や表現力に関わる学習技能を系統的に育てるよう工夫されている。</p>
○巻頭の「この教科書のしくみ」のコーナーで、教科書のページを例に挙げながら、学習の進め方を示すことで、見通しをもった学習が展開できるよう工夫されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

社 会 科 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
M	<p>○随所に「ことばのまど」を設け, 用語解説などをして児童の理解を助ける配慮がされている。</p> <p>○それぞれの学習場面に, 「学び方教室」を設け, 学び方や調べ方のポイントについて説明を加えることで, 児童が学習を進めるときに参考にできるよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年上p. 109「交通安全のためのルール」では, 「自転車に乗るときのルール」のコーナーを設け, 学習内容と自分たちの生活を関連付ける構成になっている。</p> <p>○全学年とも各小単元が「問題の設定」「調べ方を考えて調べる」「調べたことをまとめる」といった問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年にわたって「ひろげようふかめよう」と題した特設ページを設け, 発展的な学習内容のほか, 補充的な学習内容へも対応している。</p> <p>○先生と子どものキャラクターそれぞれに役割を決めて, 親しみやすい言葉で活動を促し, 学習の道案内をする構成となっている。</p>	<p>○5年下p. 32, 33「領土の広がりと位置」では, 「日本のかかえる領土の問題」として, 北方領土とともに竹島についても記述され, 不法に占拠されている問題を取り上げている。</p> <p>○6年上p. 17に加茂岩倉遺跡, p. 160に石見銀山の記述がある。</p>	<p>○道徳との関連について, 「ハートマークの囲み」を示して, 社会規範に対する好ましい態度を育てるよう配慮されている。</p> <p>○新聞やポスター, ニュース番組作り, 討論会など, 学習のまとめ方・表現方法を紹介し, 児童の情報発信につながるよう工夫されている。</p>
	○5年上p. 20に見られるように, 実際に調べ学習を進める上で有効なサイトのホームページアドレスを紹介し, パソコンの活用ができるよう工夫されている。				

選 定 に 必 要 な 資 料

地 図 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○小学校の学習量に十分対応した内容・分量である。</p> <p>○ページのレイアウトが統一されており, 利用しやすいよう配慮されている。</p> <p>○p. 3「地図のなぞとき」では, 地図の利用の仕方の基礎・基本となる約束が, 1から6まで丁寧に順を追って分かりやすく説明されている。</p>	<p>○各学年の学習内容に沿った教材で構成されており, 特にp. 57以降の「さまざまな地図にチャレンジ」では, 地図の種類や読み取り方について多彩な学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○小口を見ると, 都道府県については青, 世界については茶で色分けされており, 利用しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○学習課題や地図学習上での視点が「調べてみよう」や「地図のポケット」に記述されており, 主体的な学習に役立つよう工夫されている。</p> <p>○地図にも豊富なイラストが大きく掲載されており, 興味をもたせながら, 学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各県の多彩な「おくにじまん」がイラスト付きで分かりやすく掲載されており, 自然や産業に目を向けさせるよう工夫されている。</p>	<p>○地形的に他県と比べて特色のある都道府県については, 大きな地図や具体的な資料が掲載されており, 児童が地域学習をする際の良い資料となる。</p> <p>○p. 8「日本の地形の様子」の地図に, 竹島が名称とともに明記されている。</p> <p>○地球環境や伝統文化に配慮した資料が多く掲載されており, 今日的な課題にも触れられるよう考慮されている。</p>	<p>○写真や地図が大きく, 初めて地図学習に取り組む児童にとって利用しやすいよう配慮されている。</p> <p>○全体に落ち着いた色調で表現されている。鳥かん図がとても丁寧に描かれており, 地形や高低差が把握しやすくなっている。</p> <p>○実際の地球の様子として捉えやすいよう, 「世界の大陸と地域」は宇宙から見た地球のイメージで描かれている。</p>
<p>○地図はすべて横開きに統一されており, 児童が使いやすいように配慮されている。</p> <p>○さくいんが, 都道府県名等は赤字, 山・島・平野は緑字, 川・海・湖は青字に色分けされており, 児童が使いやすい。</p>					
J	<p>○資料が豊富で, 小学校の学習について詳しく学ぶことのできる内容・分量である。</p> <p>○地図の土地利用の色分けの凡例がページごとに示され, 利用しやすいよう配慮が見られる。</p> <p>○p. 7「地図帳の使い方」では地図帳の使い方が順を追ってわかりやすく説明されている。具体的な紹介マップも載っており, 発展的な調べ学習にも使える内容になっている。</p>	<p>○各学年の学習内容について資料がバランスよく構成されており, 効果的に学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○扉のページやp. 16~18に都道府県や日本列島が見開きで示されており, 日本の全体像が捉えやすくなっている。</p> <p>○世界地図では, 地形図の次に同じ地域の国別色分け地図を載せ, 世界の国への興味が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○キャラクターの吹き出しに学習課題や着眼点が適切に書かれており, 主体的な学習に役立つよう工夫されている。</p> <p>○各国や地域の特色を表す写真や, 世界で活躍する日本人の写真が掲載され, 興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>○「世界の国々」のページに世界のおもなスポーツとはじまった国の写真が掲載され, 興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○日本海側の代表的な都市として松江が取り上げられ, 気候について他の地域と比較しやすい。</p> <p>○p. 1の「都道府県の区分」の地図に, 竹島が名称とともに明記されている。</p> <p>○地球環境に関する資料がまとめて掲載されており, 今日的な課題にも触れられるように考慮されている。</p> <p>○p. 23, 24に中国地方全体の地図が大きく見開きで扱われている。</p> <p>○統計の各種資料が豊富である。他者と比べて資料が新しい。</p>	<p>○各学年の学習内容と関連のある資料が豊富に掲載され, 児童の関心に応じて詳しく調べることができるよう配慮されている。</p> <p>○はっきりした色彩や文字・記号等の表記で, 読み取りやすい。</p> <p>○世界の国々を有名な物語や動物など, 児童が知っているものと結びつけて身近に感じさせることができるよう工夫されている。</p>
<p>○地方別の地図では全体を掲載するために, その地域の地形の特性に応じて, 縦開きや横開きになっており, 折り込み資料が多い。</p> <p>○p. 12で地図を使ったまとめ方の具体例が掲載されており, 社会科以外の学習時間にも利用できるよう配慮されている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○4年下p. 118のように各巻末に練習問題をまとめ, 補充・発展的な問題は, 選択的に扱えるよう配慮されている。</p> <p>○3年上p. 15のようにキャラクターや人物の台詞で課題解決に向けてのヒントや活動の流れを提示し, それを手がかりに思考を深めるよう工夫されている。</p>	<p>○5年上p.72, 73のように, 単元最初の基本問題は, 考え方や解答が次ページに書かれており, 児童が主体的に解決できるよう配置の工夫がされている。</p> <p>○4年下p. 56のように「おぼえているかな?」を適宜設け, 既習事項が反復練習できるよう配慮されている。</p> <p>○3年生以上の巻末に「チャレンジ」を設け, 算数の楽しさを味わわせたり, 生活への活用・意欲づけを促している。</p>	<p>○写真を効果的に使い, 4年上p. 60のように道具の使い方を分かりやすく表したり, 5年上p. 84のように問題解決のイメージづくりをしたりするなど配慮されている。</p> <p>○5年下p. 12のように「マイノート」で, 言葉や数, 式, 図, 表, グラフなどを適切に用いて考えたり, 説明, 表現したりする学習活動の例示がしてあるとともにノートの作り方がアドバイスされている。</p>	<p>○6年下p. 59のように「算数のおはなし」を設け, その単元に関連したトピックを紹介することで, 学習内容の広がりや深まりを図っている。</p> <p>○3年上p. 62のように「考える力をのばそう」では, 図, 表, グラフ等を適切に用いて考えたり, 分かりやすく説明したり, 関数的な考え方を育てたりするなど, 数学的な思考力を育成するよう工夫されている。</p>	<p>○習得させたいことを細かく丁寧に記述してある。</p> <p>○特設ページ「かたちであそぼう」で, 図形の柔軟な見方・考え方をさせることで図形に対する感覚を豊かにするよう工夫されている。</p> <p>○学習で使う教具を切り抜いて使えるよう厚紙の巻末ページが設けてあり, 算数的活動が体験的・効果的に行えるよう工夫されている。</p>
	<p>○1年p. 32, 33のように, 色覚バリアフリーの観点から, 色調や配色の組み合わせを考えた紙面作りがされている。</p> <p>○5年上p. 116のように「算数の目で見てみよう」では, 他教科や日常生活と関連付けながら課題追究できるよう工夫されている。</p>				
B	<p>○キャラクターが思考の助けとなるヒントをくれるので分かりやすい。</p> <p>○5年上p. 86のように「もっと算数」を設けることで, 学習内容の広がりや深まりを実感させるとともに, 学習指導要領を越えた内容については5年上p. 73のように「はってん」と明示し, 挑戦意欲を高めている。</p>	<p>○1年の「とけい」では「なんじ なんじはん」を先に取り上げ, 別単元で「なんじなんぶん」を学習するようにして理解しやすくしている。</p> <p>○6年上p. 24, 25のように単元最初のページには, 解法・解答を示さず, 次ページに示し, 豊かな思考のための配置が工夫されている。</p>	<p>○5年上p. 120のように「わくわく算数」では, 算数的ゲームをしたり, 生活の中の算数や多様な考え方に触れたりできるよう工夫されている。</p> <p>○4年下p. 50のように「思い出そう」のコーナーでは, 既習の教科書内容がそのまま示されており, 学習時の内容が思い出しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○6年上p. 24, 25のように単元最初のページには, 児童が主体的に考えたり話し合ったりできるよう書き込み欄を設けている。</p> <p>○2年上p. 76のように「読みとって考えよう」では, たくさんの情報(言葉や図, 条件等)の中から必要な内容を選んで解く学習が設定されており, 児童の思考力・判断力を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○既習事項をもとにした自由な発想を大切にしている。</p> <p>○課題解決のために数直線を多く用いてあり, 量的な捉え方ができるよう工夫されている。</p> <p>○5年上p. 74のように「図を使って考えよう」では, 視覚的に理解や考えを促すことができ, 図を使って課題解決する利点に気付かせるよう工夫されている。</p>
	<p>○4年下p. 132, 136のように, 「ふくしゅう」や「計算練習」及びその答えが設定されており, 自主的に復習できるよう工夫されている。</p> <p>○6年下p. 69「わくわく算数ミュージアム」では, 環境や福祉, 国際問題, 歴史などに関連させながら学習できる。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 科 No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
D	<p>○1年p. 33のように問いかけの違いが1年生にも見てすぐに分かるように網掛けをして強調してある。</p> <p>○2年上p. 2, 3「べんきょうしたこと」のように各教科書の目次の前に前学年(上巻)の内容が領域別にまとめてあり, 目次には関連する学習内容が示してあって, 既習事項を振り返られるよう工夫されている。</p>	<p>○3年上p. 70「けいじ板に絵をはろう」のように学習したことを生活や新しい学習の中で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○1年p. 39のように問題場面の絵を考えさせること, 2年上p. 42のように式を読むことやp. 57やp. 117のように問題作りが, 多数取り入れられており, 演算決定や式の意味の理解が促されるようになっている。</p>	<p>○2年上から「ページの数になるように式をつくろう」と数の捉え方を日々の学習の中で広げる工夫や算数的活動の場面が一目で分かるようにページに示されている。</p> <p>○各学年最後の「算数アドベンチャー」では, 身の回りから, 日本, 世界へと視野を広げ, 算数を用いて伝統文化や自然を考え, 環境問題や食の問題に取り組めるようになっている。</p>	<p>○4年上p. 83のように, かり商の立て方の思考過程が言葉と絵と吹き出し, 更に式で分かりやすく表されており, どのように考えれば良いのか, どう表現すれば良いのか, 具体的に示され言語化が図られている。</p> <p>○5年上p. 126のように教科書でいっしょに学ぶ友だちのそれぞれの考えを発表する場面を取り上げ, お互いに認め合い高め合えるよう工夫されている。</p>	<p>○表紙裏の「算数見つけた」や単元導入の「見たことあるかな」コーナー等, 生活の中にある算数がビジュアルな写真で紹介され, 身の回りにある算数が実感でき, 見方・捉え方を広げるよう工夫されている。</p> <p>○練習問題では, 考え方を忘れたら何ページを見ればいいのか記されており, 自力解決できるよう工夫されている。</p>
<p>○2年上から自分の考えを伝えるのに役立つ言葉や用語を巻末の「この本で出てきたことばと記号」にまとめたり, 「ことば」のコーナーに言葉の意味や説明を記述したりするなど, 算数科学習における言葉が大切にされている。</p> <p>○中学校への架け橋小冊があり, 小・中学校への学びのつながりが図られている。</p>					
F	<p>○2年上p. 18「友だちのノートを見てみよう」のように友だちのよさを見付けながらノートを整理することが定着するように, 各学年で繰り返し取り上げられている。</p> <p>○3年上p. 10にあるように, 中学年から計算の学習では, 数の関係を示す数直線図が継続的に用いられ, 系統性を重視した内容になっている。</p>	<p>○4年上p. 49「よくあるまちがい」のように誤答例を提示し, 理解が促されるよう工夫されている。</p> <p>○2年上p. 74のように「学ぶこと→たしかめ→練習」と1時間の中で確認できる構成になっている。また, 「たしかめ」の問題には3段階の顔マークで自己評価ができるよう工夫されている。</p>	<p>○6年上p. 14のように, 導入段階に活動を取り入れたり, すぐに使用できる教具が組み込まれたりしており, 興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>○2年上p. 90の「学んだことをつかおう」のように算数を使って身近な環境問題に取り組めるようになっている。また, キャラクターの吹き出しで様々なヒント等を示し, 進んで学習ができるようになっている。</p>	<p>○学びの手引き(4年上p. 124「算数で使いたい言葉」, 5年上p. 108「算数で使いたい考え方」, 6年上p. 108「算数を広げる力」)を設け, 数学的な見方や考え方・活用力の育成, 言語活動を大切にしている。</p> <p>○4年上p. 121「計算のくふうのコツ」やp. 122「文章題のコツ」には問題解決のための道筋や必要な情報収集の仕方が示されている。</p> <p>○3年下, 5年下には, 島根県内の写真が使用されている。</p>	<p>○基礎的・基本的な内容を押さえながら, 児童の主体的な問題解決を通して思考力・判断力・表現力を高めることを大切にしている。</p> <p>○「算数ワールド」では折る・切る・線を引くなど手を動かす活動や, 知恵を働かせるミニクイズやゲームなどの活動が多く取り入れられており, 算数的活動を通して豊かな感性をはぐくまれるようになっている。</p>
<p>○児童の発達段階や中学へのつながりを意識した紙面構成や特設ページの設定になっている。</p> <p>○問題やヒントは白地に, 重要なことは色が着いた地に記載されており, 見やすくなっている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 科 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
K	<p>○2年上p. 89のように基礎的な内容を確実に習得できるよう基本問題や少し発展させた問題を2種類のマーク(□, △)で取り上げたり, 同類問題が分かりやすいよう色を着けたりして, 練習問題に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○3年上p. 48では筆算の繰り上がりを記入するように思考の流れが記載してあり, 確実に学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○1年p. 38のように, 3枚の連続写真の濃淡を変えることによって, 手の動きが理解できるよう工夫されている。</p> <p>○2年以上の目次には, 該当単元の既習事項の単元名と, 練習問題のページが示されており, 主体的に反復による学習が行えるよう工夫されている。</p> <p>○家庭学習も視野に入れ, 巻末に児童が自ら取り組むことのできる「算数のまど」を設けている。</p>	<p>○5年上p. 146のように, 数直線図のかき方が丁寧に示してあり, 計算の意味や仕方等を説明する際, 積極的に活用できるよう工夫されている。</p> <p>○2年上p. 27の「学しゅうのかんそう」のように, 算数のよさや楽しさ, 学習したことを事後に活用する意欲付け等がなされ, 主体的に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○6年上p. 24, 25「みんなで話し合いましょう」のように, 自分の考えを言葉, 数, 式, 図, 表, グラフなどを適切に用いて説明したり, グループやクラスで話し合ったりする活動を通して, 言語活動を充実させるとともにコミュニケーション能力がはぐくまれるよう工夫されている。</p> <p>○例示の吹き出しなどは丁寧な言葉遣いであり, 相手を大切に思う思いがもてるよう配慮されている。</p>	<p>○基礎的・基本的な内容を重視するとともに, 問題数を多くしたり, 低学年ではスモールステップの問題を工夫するなど学習の定着を大切にしている。</p> <p>○2年上p. 73「買えますか? 買えませんか?」のように算数的活動をとおして「数感覚」「量感覚」「図形感覚」などを低学年から身に付けることができるよう工夫されている。</p>
	<p>○2年以上のp. 4などに「学習の進め方」が具体的に示されており, 系統立てて学び方が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○5年以上の表紙の英語表記や6年下p. 100のように, 中学校の学習とのつながりを考慮した構成が工夫されている。</p>				
M	<p>○6年上p. 15のように「たしかめぼうし」で定着度を捉え, 「選んでトライ! じっくりチェック」「ぐっとチャレンジ」で実態に合わせた補充・発展的な問題が選択的に扱えるようになっている。</p> <p>○1年に「まとめてかぞえる」の単元を設定し, 上学年で学習するかけ算・わり算問題の素地となる考え方に触れられるよう工夫されている。</p>	<p>○1年p. 30のように, 計算学習の導入は絵のお話作りから始まっており, 具体的な場面から演算がイメージできるよう工夫されている。</p> <p>○3年上p. 3のように単元の導入前に「次の学習のために」と題し, 反復により既習事項を想起させ, 次の学習への理解の広がりにつながるよう工夫されている。</p>	<p>○4年上p. 48の「いち・に・算活」のように, 各単元で算数的活動を扱い, 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け, 学ぶことの楽しさが実感できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年上の巻末の「マップ」「算数ノートをつくらう」を使い, 年間を通して筋道を立てて考え, 分かりやすく説明したり, 伝え合ったりしながら楽しく学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○2年上から各巻見開きに, 学習過程「つかむ」「見通す」「解決する」「発表する」「話し合う(話し合いのポイント)」の例を示し, 児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○2年上p. 16のように, 各単元の中で「話し合いマーク」とその視点が示され, 発表の仕方「まず」「はじめに」「次に」「そして」「最後に」「よって」など細かく例示し, 言語活動の充実が図られるよう工夫されている。</p>	<p>○見通しをもったり, 考えを話し合ったりすることを大切に, 児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「活用」のページや「いかす算数」のコーナーがあり, 学習し身に付けたものを, 日常生活や他教科の学習に活かせるような内容が取り上げられている。</p>
	<p>○幅広いA B判の紙面を活用し, 各ページの右側にヒントや疑問, 考え方が細かく示され, 思考を促すよう工夫されている。</p> <p>○2年下p. 66のように「なるほど算数」では, 学習内容と関連させた内容を取り上げ, 算数のよさに気付かせるよう工夫されている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

理 科 No.1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1.内容、程度、分量等	2.教材の選択や構成等	3.興味・関心への配慮等	4.教科の特性、県の実態や課題への適合等	
A	<p>○4年「すずしくなると」のグラフと記録の関係付け、5年「植物の発芽と成長」の条件制御の表整理にあるように、問題解決能力をはぐくむよう考慮されている。</p> <p>○3年p.52～55, p.134に見られるように、研究の課題例や手順、ノートのまとめ方が丁寧に示され、初めて理科学習に取り組む3年に取り組みやすいよう配慮されている。</p>	<p>○各単元のはじめに「思い出そう」があり、これまでの学習やくらしとの関連を意識できるように工夫されている。5年p.65のように「調べよう」によって、単元の見通しをもてるよう工夫されている。</p> <p>○5年p.144に見られるように実験器具の使い方や資料の集め方を資料として巻末にまとめて紹介する工夫がされている。</p>	<p>○4年「星ざカード」、6年「飛び出る人体模型」など、学習を深める教具をつくる活動により、児童の関心を高める工夫がされている。</p> <p>○3年p.58, 5年p.42にあるように、実物大を示したり大きさの比較をしたりしながら、興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○5年「物のとけ方」や6年「ものの燃え方と空気」のように、自分の考えを図で表現するよう工夫されている。</p> <p>○4年p.84の「ヘチマの成長のようすをまとめよう」に見られるように、成長と気温の変化を比較し、関係づけて考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○文章表現や長さが学年の発達の段階に即している。6年p.12,14に見られるように各学年において、「まとめ」は「課題」に対して、短く対応してわかりやすい表記となっている。</p> <p>○6年p.11に見られるように、各学年において課題の下には学習内容と準備物を記し、1時間の学習が見通しをもったものとなるよう配慮されている。</p>
○巻末に「資料」として、記録の仕方や話し合いの仕方、実験器具の使い方などが掲載され、必要に応じて学習できるように構成されている。					
B	<p>○各学年の巻頭では、各学年で重視されている問題解決能力を示した「理科の学び方」により、見通しをもった学習となるよう工夫されている。</p> <p>○各単元末の「ふりかえろう」では、3年では選択肢から用語を選んで文を完成させる形式、4年からは穴埋め形式となり、発達の段階に即した配慮がされている。</p>	<p>○3年p.10,11では5種類からの選択、5年「植物の発芽」では代替教材を紹介し、地域の特性にあわせて学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○5年-2のp.48～50に見られるように学習課題や予測、実験の方法を見開きで示し、その結果を次ページで示すなど学習を計画的に進めることができよう配慮されている。</p>	<p>○4年-1のp.57の透明シートを使用しながら、夜空から星座を見付ける活動を促し、星についての興味・関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>○4年-2「ものの温度と体積」や5年-2「流れる水のはたらき」に「別の実験方法」とあるように、多様な方法から選択して主体的な学習が展開されるよう配慮されている。</p>	<p>○3年「しぜんのかんさつをしよう」や6年-1「ものの燃え方」のように図書の活用を積極的に取り上げ、自主的な調べ学習を促すよう工夫されている。</p> <p>○4年-1「とじこめた空気や水」や6年-1「ものの燃え方」では、見えない事象を絵図にかかせ、表現することを促す工夫がされている。</p>	<p>○児童が多くの教材や実験方法から選択できるなど、主体的な学習が展開できるよう配慮されている。</p> <p>○各学年の巻末には「学んだことをふりかえろう」を設け、上学年や中学校との系統性が明確になるよう配慮されている。</p>
○6年-1「わたしたちをとりまくかんきょう」や6年-2「生物と地球のかんきょう」では、美しい写真と豊富な資料により環境保全意識を高めるよう工夫されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

理 科 No.2

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1.内容、程度、分量等	2.教材の選択や構成等	3.興味・関心への配慮等	4.教科の特性、県の実態や課題への適合等	
D	<p>○3年「ものの重さと体積」や4年「1日の気温と天気」のように、算数との関連を図り、算数の学習内容が丁寧に説明されている。</p> <p>○3年p. 88にあるような実験結果の書き込み形式が、5年p. 18, 19では「ノートの例」となるように、結果を整理する技能が、発達の段階に即して習得できるような構成となっている。</p>	<p>○巻頭の折込では、3年～6年までの内容を示し、学年間の系統性がわかるよう工夫されている。</p> <p>○4年「1日の気温と天気」p. 19, 20に見られるように、学習課題から準備、観察、結果、考察までの学習の流れが分かりやすく示してあり、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。</p>	<p>○「読み物」では、「～をさがしてみましよう」「～とくらべてみましよう」等、子どもの興味を高めながら活動へと促すよう配慮されている。</p> <p>○3年p. 8, 9に見られるように、イラストが精密で、大きく描かれており、細部まで分かりやすい。また写真も大きくインパクトがあり、児童の関心を高めるよう配慮されている。</p>	<p>○5年p. 138「もののとけかた」に見られるように、自分の考えをまとめることを重視して、「説明してみましよう」が単元まとめとして設定されている。</p> <p>○3, 4年巻末「調べる」では、学校図書館利用の仕方や資料の探し方が説明され、図書を活用した調べ学習へと発展するよう配慮されている。</p>	<p>○各学年において、美しい自然風景の見開き写真と詩を重ね合わせ、自然に対する豊かな心情をはぐくむよう工夫されている。</p> <p>○5年p. 31に見られるように、各学年において問題解決学習を重視し、観察・実験の場面では、観察記録やノート例を示し、結果から整理・考察場面の充実が図られている。</p>
	<p>○巻末の「考えよう・調べよう」では、学年ごとの話し方や観察の仕方、調べ方、記録の仕方、まとめ方のポイントが示され、授業中の必要となった時に使用しやすいよう配慮されている。</p>				
F	<p>○発展的な内容が巻末の「わくわくチャレンジ」として充実しており、児童の実態に応じて活用できるよう工夫されている。</p> <p>○3年p. 127, 6年p. 127に見られるように、単元初めに「学びのとびら」を設け、学年の発達の段階に応じて、問題意識をもたせるよう工夫されている。</p>	<p>○「はてな→調べよう→わかった」の学習展開を基本とし、マークを記して学習展開に見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○3年p. 118や5年p. 16, 17にあるように、観察・実験の結果を整理し考察している話し合い場面をイラストで示し、考察する学習場面の指導にヒントを与える構成になっている。</p>	<p>○5年p. 131「人の誕生」、6年p. 40「人の体のつくりとはたらき」では、実際の大きさのイラストを掲載し、児童が関心をもって学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○4年「月と星」「冬の星」では、家庭での自主的な学習ができるように、「星ざ早見」や「星ざカード」を作成して調べることができるよう工夫されている。</p>	<p>○5年p. 124や6年p. 20に見られるように、各単元末の「確かめ」では、定められた条件の中で自分の考えを書きまとめる問題が設定されており、読解力と論理的に説明する力をはぐくむ配慮がされている。</p> <p>○4年p. 179の「学んだことを使おう」のように、学習内容をもとに自然の事象などを説明しながら、理科学習の有用性が実感できるよう配慮されている。</p>	<p>○各学年に設けられた、美しい自然のダイナミックな写真と「達人からのメッセージ」は感性を高める配慮がされている。</p> <p>○各学年の「科学のまど」では、日常生活との関連が図られ、視野を広げ、理解を深めるよう工夫されている。</p>
	<p>○4年p. 182に見られるように、各学年において、教科書に出てくる言葉が掲載頁を示しながらまとめて紹介され、言葉を大切にしながら活動を充実していく配慮がされている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

理 科 No.3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1.内容、程度、分量等	2.教材の選択や構成等	3.興味・関心への配慮等	4.教科の特性、県の実態や課題への適合等	
G	<p>○3年、5年の巻頭「学習の準備」では早期に取り掛かる準備内容を示したり、4年p.4では栽培に関する年間スケジュールを掲載したりして、見通しをもった学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○各学年、観察・実験器具の扱い方を単元の途中で示すことにより、問題解決の過程の中で器具が使用されるよう配慮されている。</p>	<p>○6年「植物のからだとはたらき」のシロツメクサ (p.45), オオアレチノギク (p.57) のように、身近な素材を使った教材が工夫されている。</p> <p>○3年p.4「1年間の学習」にあるように「身近なしぜんの観察」や「植物を育てよう」の単元が温かくなった時季に設定されており、山間部の涼冷な地域に配慮した単元配列になっている。</p>	<p>○3年p.126や5年p.158「しりょう」では、自ら見出した問題の解決に向かった科学者に添いながら読むことにより、科学に対する興味・関心を高めるよう配慮されている。</p> <p>○5年p.61「いろいろ花の花粉」や5年p.84「天気の変化」に見られるように、学年に応じて使用される写真は、自然のすばらしさが感じられ、資料性が高く、児童の興味・関心を高めるよう配慮されている。</p>	<p>○5年p.140や6年p.135にあるように、実験の手順は、詳しい文章と写真により説明され、読解力をはぐくむよう配慮されている。</p> <p>○4年p.26, 5年p.147, 6年p.113にあるように、学習内容をまとめたレポートを作成したりすることが重視されており、「書く」活動が充実するよう配慮されている。</p>	<p>○地域の動・植物の発育時期や地域素材の活用など、地域の特性を生かした学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○5年p.72以降に見られるように、家族に囲まれた赤ちゃんの写真や、p.74の聞き取りの例のように、知識だけでなく、生命尊重のための感性が磨かれるよう配慮されている。</p>
	<p>○3年p.46などにあるように、児童の目線で撮った写真や児童を中心としたイラストを随所に配置して、児童の学習意欲を喚起できるよう配慮されている。</p>				
K	<p>○巻末の「さくいん」では、重要な言葉を参照できるように掲載したり、単元末「学習をまとめよう」に「言葉のチェック」を設けたりして、言葉の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○3年p.31では線でつなぐ・色を塗る等の多様な活動を、6年p.31では定められた言葉を使って説明する問題を設け、発達の段階に合わせた言語活動が充実するよう工夫されている。</p>	<p>○単元始めに5年p.34のように「思い出してみよう」を設け、前学年までの内容の系統性を踏まえて学習が展開されるように配慮されている。</p> <p>○5年p.68~70に見られるように、予想に基づいて実験の結果を考察していくことを促すよう工夫されている。</p>	<p>○3年巻末「生き物しりょう集」と「たんけんカード」、4年巻末「光る星座カード」では、野外観察と共に家庭における自主的な学習を促す工夫がされている。</p> <p>○3年p.86や5年p.69の「わたしのくふう」において、児童の発想を大切にして、意欲的に学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○4年p.123,125に見られるように、「理科の広場」や「力だめし」では、身近な生活との関連を図っている。</p>	<p>○3年p.102「電気で明かりをつけよう」や5年p.87「もののとけ方」にあるように、まとめ方を具体的に示し、結果を整理し考察する学習が充実するよう配慮されている。</p> <p>○6年p.163には、大田市の埋没林について掲載されている。</p>	<p>○理科と身近な生活を関連付けた内容を設けたり、地域資料の活用を図ったりして、理解がより深まるよう配慮されている。</p> <p>○各学年に「理科から仕事へ」が見開きで設けられ、学習への意識や自然に対する見方や考え方につながるよう工夫されている。</p>
	<p>○5・6年では、地域の特色を生かした学習が展開されるよう、巻末に「地域資料集」を掲載し、身近な自然に興味をもち、大切にしていこうとする態度をはぐくむことに配慮されている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

生 活 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○幼児教育から小学校への円滑な接続に配慮されたスタートカリキュラムとなっている。</p> <p>○下巻p. 22, 30, 31など, 友だちと自分の気付きなどを伝え合うことで, 言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成が図られている。</p> <p>○5つのキャラクターが登場し, 気を付けることを語りかけるなどして, 思考・判断を促すよう工夫されている。</p>	<p>○上巻p. 13のように右コーナーに, 「あいさつ」「やくそく」など生活ルールやマナーが記述されている。</p> <p>○上巻p. 24~29では, 種からつぼみまでの成長の様子が一覧できるようにページの開き方が工夫されている。</p> <p>○下巻p. 11~22では, 苗植えから野菜の収穫から発表まで一括して示してあり, 児童に活動の見通しがつきやすいよう工夫されている。</p>	<p>○上巻p. 46「ぐんぐんのうと」では, 自分ができるようになったことについて友だちと交流する場面が描かれ, 成果を自覚するよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 50では, 「パワーアップさせたいな」の見出しやコーナーが設けてあり, 子どもの気づきを深める新たな動機付けについて工夫されている。</p>	<p>○下巻p. 57に図書館活用のページがあり, 情報活用や公共施設利用を促す工夫がされている。</p> <p>○下巻p. 76にある点字やマークを探す活動や車椅子の友だちが多く描かれた挿し絵は, 福祉などの今日的な課題に配慮されている。</p> <p>○上巻p. 4「がっこうにいこう」では多くの人が描かれ, 安全に登下校ができるように安心感を深める工夫がされている。</p>	<p>○活動への意欲や期待感を喚起する美しい写真や挿絵が豊富に掲載されている。また, 挿絵は淡い色調で落ち着いて学習に取り組めるように配慮している。</p> <p>○活動や体験をとおして, 学習習慣や生活の基盤をつくることをめざした内容を豊富に取り入れている。</p>

B	<p>○四季の変化を軸にした単元構成がされ, 児童の思考の深まりを考慮した活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○より詳しく学習する場面では, キャラクターが登場し, 問いかけたり語りかけたりして, 思考・判断を促すよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 74, 75では, 調べたことを伝える方法が豊富に紹介されている。</p>	<p>○上巻p. 4からの絵では, 家族の様子などが描かれ, 徐々に対象を広げ, 入学当初の児童の発達の段階に配慮されている。</p> <p>○下巻p. 56, 57では白地図が床地図として紹介され, 3年生の学習との接続が配慮されている。</p>	<p>○上巻p. 54ではアクリルシートを使い, 草むらの中から虫を見つけようという気持ちを高める工夫がされている。</p> <p>○下巻p. 13では, 「ビンゴカード」を取り入れ, ゲームをしながら探検が進むよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 84では, どこがいけないか名人に聞く場面が写真や絵で描かれており, 子どもの気づきを深める新たな動機付けとなるよう工夫されている。</p>	<p>○上巻p. 25などには, 「せいかつこ とば」が書かれており, 語彙を増やすよう配慮されている。</p> <p>○下巻p. 132「あたたかいねたすけ 合う町」では, 手話や点字など福祉の今日的な課題に配慮されている。</p> <p>○下巻p. 52では, 生き物と人の生活の24時間が取り上げられ, 規則正しい生活習慣づくりに配慮されている。</p>	<p>○豊富な情報を提示し, 活動内容を選択しやすいよう配慮されている。</p> <p>○下巻p. 94「教えてあげるよ, きみのすてき」では, 豊かな人間関係の構築とともに, 自尊感情を高める配慮がされている。</p> <p>○上巻p. 70では白黒写真を使い, 子どもの自由な発想・気づきを引き出す工夫がされている。</p>

<p>各巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では, 児童の興味に沿って活用できるよう, 虫や草花, 道具の使い方やクッキングなど豊富な内容が項目ごとに整理されている。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
D	<p>○同じ公園が季節ごとに描かれ, 季節の変化への気付きや児童の思考の深まりを考慮した活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 55などでは, 作文用紙を使って, 作文を書く活動が紹介され, 言語活動の充実への配慮がされている。</p> <p>○各教科との関連が意図され, 教科名が示されている。</p>	<p>○上巻p. 90からの「しあわせいっぱい」では, 「いえのしごと」を取り上げ, 自分がしてもらっていることとしていることを調べ, 家族の一員としての気持ちの高揚を意図した単元となっている。</p> <p>○上巻p. 25などには, 活動のねらいを付した自己評価コーナーがあり, 振り返りができるよう工夫されている。</p>	<p>○下巻p. 32「つくってあそぼう」では, 多様なおもちゃがそれぞれ詳しく紹介しており, 作ってみたいという気持ちを高めるよう工夫されている。</p> <p>○上巻p. 38「ものしりノート」では, 多様な活動を紹介し, 児童の活動への意欲を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○下巻p. 28「町のくふうを見つけよう。」では, バリアフリーや手話などが紹介され, 福祉などの今日的な課題に配慮されている。</p> <p>○上巻p. 30「きをつけてあるこうね。」や安全な歩き方など, p. 114, 115「あんぜんのぺえじ」などで, 学習や生活における安全への配慮がされている。</p>	<p>○鮮明な絵や写真, 多様な表現方法の例示がある。</p> <p>○A B判を生かしたダイナミックな紙面で, 学習に役立つ資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○環境や福祉といった今日の諸課題に配慮されている。</p>
下巻の巻末に「学びかたずかん」が設けられ, 児童の活動ごとに活かせる内容が豊富に盛り込まれている。					
F	<p>○上巻p. 1に「きょうかしのつかいかた」のページがあり, 調べ学習を進めやすいよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 16, 17「まちのあん心たんけん」などには, 地域の人々に守られながら成長していくことに気付き, 安心安全について意識を向けるよう工夫されている。</p> <p>○各教科との関連が意図され, 教科名が示されている。</p>	<p>○探検活動では, 人に焦点を当てた探検活動が紹介され, 下巻p. 44では, 「えがお」「えがおのひみつ」をキーワードにし, 「あの人にまた会いにいきたいな。」を設定している。</p> <p>○下巻p. 52などには, 発表会場で, 見つけたことを伝える方法が豊富に紹介されている。</p>	<p>○上巻p. 31などでは「○○みつけビンゴ」を取り入れ, ゲームをしながら探検などの活動が進むよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 26には写真を用いたクイズを取り入れ, 断面はどうなっているのかなど, 内部を知りたいという興味を高めるよう工夫されている。</p> <p>○p. 19のようにワークシートに対する先生のコメントが書かれており, 意欲を高めるよう配慮されている。</p>	<p>○上巻末「ぐんぐんちからポケット」, 下巻末「ぐんぐんまなぶポケット」では, あいさつなど人と関わるマナーや安全のルールを含めた学び方についてまとめている。</p> <p>○下巻p. 56「見つけたよあこがれのしごと」では, 様々な人々との関わりを深められるよう配慮されている。</p>	<p>○上巻p. 27「たねのきもち。」, p. 70「かぞくみんなの気もち。」など美しい挿し絵をもとに気持ちを語る「おはなしのじかん」を設け, 道徳と関連させた活動や, 「はってん」コラムで理科などへつながる内容を示している。</p> <p>○空を見たり, 砂をさわったり, 葉っぱに埋もれたりなど, 五感を使った気付きを引き出すよう工夫されている。</p>
巻末の「めもりんノート」は, 1年間の活動の見通しをもたせ, 学びの足跡が自覚できるよう配慮されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

生 活 科 No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
G	<p>○同学年児童が語りかける形で記述されており, 親近感をもたせながら児童の思考・判断を促すよう工夫されている。</p> <p>○「いつものばしょ」では季節の変化への気付きや児童の思考の深まりを考慮した活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○行事が多く取り上げられ, 行事を通して季節感を感じるよう工夫されている。</p>	<p>○下巻p. 22「雪遊び」, 下巻p. 52「麦作り」など, 地域性を活かしたダイナミックな活動が取り上げられている。</p> <p>○下巻p. 64～p. 87では, 大豆の栽培から豆腐作りまでの活動の中に五感を使った遊びを取り込み, 豊かな体験を通して学習できるよう配慮されている。</p>	<p>○伝統行事の中の昔の遊びが多く取り入れられ, 地域の人とともに活動しようという意欲が高められるよう工夫されている。</p> <p>○命と向かい合う活動を主体的に体験する例として, ヤギやウサギを2年間飼育する活動内容を取り入れ, 飼育活動での配慮すべきことが強調されている。</p>	<p>○地域に根ざした教材と直接体験を重視した活動が工夫されている。</p> <p>○下巻p. 95「人にやさしい町」では, バリアフリーや手話などが紹介され, 福祉などの今日的な課題に配慮されている。</p>	<p>○鮮明な絵や写真, たくさんさんの表現方法の例示がある。</p> <p>○下巻p. 38「春さがし」p. 58「いっぱいみのって」のように, 単元の導入に詩が紹介され, 豊かな心で活動を展開しようとする構成になっている。</p>
上巻がお月見までの季節を取り扱った内容で構成され, 入門期の学習に配慮された構成になっている。					
I	<p>○同じ公園が季節ごとに描かれ, 季節の変化への気付きや児童の思考の深まりを考慮した活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 70～89の「あそんでためしてくふうして」では, 多様な遊びが紹介されていて, 物の機能的な動きに着目できるよう工夫されている。</p>	<p>○課題解決的な活動が, 「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」で進むような構成になっている。</p> <p>○「どうすればきせつをみつけられるかな?」では, 自分の五感で季節を感じるよう促している。</p> <p>○絵と写真を合成して, 視野を広げてみようとする構成になっている。</p>	<p>○下巻「まちとたんけん大はっけん」では, 1年生での学習の発展として, 同じ場所で季節を見付ける活動を設け, 季節の特徴を楽しい絵で表し, 子どもの好奇心をくすぐるよう工夫されている。</p> <p>○上巻p. 72～p. 81では, 継続して生き物を探すように季節ごとの生き物をまとめ, 鳴き声を付すなど, 生き物探しへの意欲付けが図られている。</p>	<p>○下巻p. 38～45では, 地域の人々の関わりの中で野菜作りが進められ, 感謝の気持ちを手紙にして送る構成となっており, 地域の人材を活かすよう工夫されている。</p> <p>○上巻p. 48, 49のように, はだして歩いたり, 草原にねころんだり, 草や水にさわったりするなど, 体を通して季節の変化を感じる構成になっている。</p>	<p>○AB判を生かした生き物・花の絵の美しさは, 生命の息吹を感じさせる効果を生んでいる。</p> <p>○家族との関わりを見つめる單元では, 「みんなのここにこだいさくせん」というネーミングで, 児童の発達の段階に即し, 豊かな心で活動しようとする構成になるよう配慮されている。</p>
「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の構成のほかに, 「つづきたい さがしたい」のページを構成し, 継続的な活動が意図されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

生 活 科 No. 4

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
K	<p>○四季の変化を軸にした単元構成がされ, 児童の思考の深まりを考慮した活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○キャラクターが登場し, 問いかけたり語りかけたりして, 思考・判断を引き出せるよう工夫されている。</p>	<p>○町探検の活動では, 人に焦点を当てた探検活動が紹介され, 地域の人々を名人として学ぶなど関わりを大切にした構成になっている。</p> <p>○上巻p. 53「まいにちがんばるよ」のように, 活動できたことをチェックする自己評価コーナーがあり, 振り返りができるよう工夫されている。</p>	<p>○上巻p. 21「さあ、しゅっぱつだ！」下巻p. 10「さあ、さくせんかいぎだ！」など, 子どもの気持ちを高揚させるタイトルで意欲化が図られている。</p> <p>○下巻p. 51「どうやってうごいているの？」のように, 自分で課題を解決し, 活動が科学的な思考とつながるよう工夫されている。</p>	<p>○表紙裏に「保護者の方へ」を設け, 上巻p. 52「1がっきのことはなそう。」などでは, 家庭と連携して児童の成長を見守っていく重要性が強調され, 学習が円滑に進むよう配慮されている。</p> <p>○下巻p. 86「わくわくタウンフェスタ」では, 友だちとの関わりの大切さを描写した絵があり, 幼保との連携, お年寄りとの交流など地域の人々とのつながりが配慮されている。</p>	<p>○見付ける, 比べる, 伝えるなどの活動を通して, 気付きの質を高めるよう配慮されている。</p> <p>○言葉や文字で思いを表現することによる交流の場が多く掲載され, 言語活動が大切にされている。</p>
別冊「めいじん?ブック」では, 上下巻の内容が関連付けられており, 詳しく知りたいときに活用できるように構成されている。					
M	<p>○クレヨンのキャラクターが登場し, 問いかけたり語りかけたりして, 思考・判断を促すなどの工夫がされている。</p> <p>○生き物だけでなく, 雲の変化も加えて, 四季の変化がわかりやすく紹介されている。</p> <p>○「みんなで話しあおう。」「しらべてみよう。やってみよう。」などでは, マークを使って活動の広がりや深まりをもつよう配慮されている。</p>	<p>○下巻p. 26~35「はじめての野さいづくり」では, 土づくりから紹介し, 地域の人から得た知恵を活用する構成になっている。</p> <p>○下巻p. 37のように, 収穫したあとに, 貼り絵やジオラマ製作など, 図画工作科と関連した内容を紹介し, 達成感が深まるよう工夫されている。</p>	<p>○上巻p. 82両開きの「あつまれあつまれあそびひろばへ」は, 楽しさが伝わり, 活動への意欲付けに効果があるよう工夫されている。</p> <p>○上巻p. 33では, 花の種について好奇心を高めることができるように山折りページを設けるなど工夫されている。</p> <p>○下巻p. 27「お見とおしカード」などの多様なカードで, 気付きや思いを表現しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○表紙裏に実際の点字を施し, 福祉などの今日的な課題に配慮している。</p> <p>○上巻p. 14, 下巻p. 106では, 自らの安全を考える場面を設定し, 地域の方にあたたかく見守られ, 安全に登下校ができる自信と安心感を深めるよう工夫されている。</p> <p>○下巻p. 58「つくってワクワクあそんでワイワイ」では, 友だちとの関わりの大切さを描写した絵があり, 幼保との連携, お年寄りとの交流など地域の人々とのつながりが配慮されている。</p>	<p>○鮮明な絵や写真, たくさんの表現方法の例示がある。</p> <p>○白い息をはく, 葉っぱに埋もれるなど, 五感を使った気付きを引き出す工夫がされている。</p> <p>○一つの単元が終わるごとに振り返る活動を位置付け, 自分の成長に気付きよう工夫されている。</p>
巻末の「なんでもずかん」では, 様々な生き物や多様な遊びが紹介され, 項目ごとに分かりやすくまとめている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

音 楽 科 No. 1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(感性をはぐくむ要素を含む)
A	<p>○各学年同じ題材数で統一されており, 学年間の系統を見通せるように構成してある。</p> <p>○題材の目標に即して, 学習のめあてや活動の具体的な手順が番号で示されるとともに, 評価項目があり, めあてを意識した主体的な学習が行えるよう配慮されている。5年p. 24では個から集団へ活動を広げる流れになっている。</p> <p>○2年p. 13のように, 五線を意識した鍵盤楽器の導入は次学年への基礎となっている。</p>	<p>○全学年で「音楽会を開こう」という題材を最後に位置付け, 1年間のまとめができるよう工夫されている。</p> <p>○音楽づくりは, 各学年統一して「音楽づくりを楽しもう」という題材が設定され, 段階的に系統的な学習が進められるよう組織されている。</p> <p>○各学年の始めに, みんなで心を合わせて一つの音楽をつくっていく体験ができる教材が選択されている。</p>	<p>○3年p. 7, 5年p. 4のように, 学習内容にふさわしい写真や注釈があり, 歌詞の理解を助けている。</p> <p>○3年p. 11から数ページ, 側面からの写真によって実物を感じながらリコーダーの運指を学習できる工夫が随所にされている。</p> <p>○1年p. 34のように拍を意識しながら口真似で旋律を追ったり, 2年p. 20, 3年p. 19のように遊び方やカード記入の例示があることで鑑賞がより主体的な活動となったりするよう工夫されている。</p>	<p>○1年p. 20のように, 低学年から自国のわらべ歌をはじめ, 他国の遊び歌を取り入れることにより, 我が国や世界の文化に目を向けるよう工夫されている。</p> <p>○どの学年にも共通の合唱曲が選ばれており, 全校で取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○児童の発達の段階に重ねてみると, リズム, 音域の難易度は高い傾向にあるが, 児童にとってなじみやすい曲が取り入れられている。</p>	<p>○時代の変化に応じた新しい曲から「日本の歌 心の歌」として我が国に古くから歌い継がれてきた歌も数曲が取り上げられるなど, 多様なジャンルの曲が取り上げられている。</p> <p>○活動の手順が示され, 児童が主体的に学習活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○低学年に持ちやすいB5版サイズでコンパクトに内容がまとめられている。</p>
○共通事項のポイントについては, 児童に学習課題として投げかけるように記載してあることで, 児童が主体的に学習活動を進めることができるよう工夫されている。					
F	<p>○2年p. 46や6年p. 24のように表現と鑑賞の相互の関連を図るよう配慮されている。</p> <p>○音楽づくりの学習では, 音遊びやリズムづくり, 旋律づくりなど, 児童がイメージをふくらませながら, 自分にとって価値ある音楽をつくっていけるよう系統的に構成されている。</p> <p>○各学年とも年間に2つの題材群を設け, 基礎となる学習からそれを活用しながら音楽表現をめざす題材へと配列が工夫されている。</p>	<p>○1年p. 2のように拍の流れに乗って体を動かす活動が楽しめるような教材が随所に設定されている。</p> <p>○2年p. 14のように, 音符の長さを歌の中で楽しく学習できるような, 独自の教材が取り入れられている。</p> <p>○3年生p. 22のように, リコーダーの技能を高める学習と旋律をつくる学習を絡ませ, 児童が楽しく取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○写真や挿し絵が多く, 1年p. 24のように児童の写真が挿入されており, 児童がその情景に入り込んでいるような間接体験ができるよう工夫されている。</p> <p>○4年以上の巻頭に世界的に活躍する音楽家, 5年p. 19のように作詞者からのメッセージを取り上げるなど興味をもてるよう工夫されている。</p> <p>○1年p. 30のようにほぼ原寸大の鍵盤ハーモニカ写真があり, 入門期指導に活用しやすい工夫がされている。</p>	<p>○4年p. 32のように全国のお祭りについて写真付きで取り上げられており, 石見神楽もその一つとして紹介されている。</p> <p>○全学年共通の合唱曲で, 合唱奏をしたり手話を取り入れたりして全校で取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○我が国や諸外国の音楽から, 様々な時代や曲種のもを取り上げ, 音楽のもつ多様な良さや面白さを感じ取ることができるよう配慮されている。</p>	<p>○音楽を形づくっている要素について「音楽のもと」というカテゴリーとし, 3年以上は紙面に明記してある。</p> <p>○各学年とも「音のスケッチ」で段階的かつ系統的に音楽づくりを学習することができるように題材が配列されている。</p> <p>○「にっぽんのうた みんなのうた」など感性に訴えるような美しい写真や, 児童自身がその情景に入り込んでいるかのような写真を取り入れることで児童の思いをふくらませることができるよう工夫されている。</p>
○4年のp. 24のように, 3年以上は題材ごとに身に付けたい力を共通事項の言葉で明記してあり, 児童がこの題材でどんなことを学習するのがよく分かるよう配慮されている。					

選 定 に 必 要 な 資 料

音 楽 科 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、県の実態や実態への適合等	
H	<p>○各学年の年間時数に伴って題材数が適切に考慮され、系統的な学習ができるよう、一題材に対する教材が精選されている。</p> <p>○1年のp. 8のように、低学年から表現と鑑賞の学習の関連を図り、音楽の基本となる拍の感得や基礎的な技能を楽しみながら身に付けていくよう工夫されている。</p> <p>○音楽づくりの学習を他の音楽活動と関連させながら、系統的に取り入れられている。</p>	<p>○4年のp. 38のように、鑑賞と表現の関連を図った教材を選び、深まりと広がりのある学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○4年のp. 30のように、比較鑑賞することで効果的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○2年のp. 35の音探しや3年のp. 27の音づくりの活動に生かせるオリジナル曲をはじめ、様々なジャンルから児童の心情に即した曲が精選されている。</p>	<p>○3年以上の巻末の資料が充実しており、児童の興味・関心が高まるよう配慮されている。</p> <p>○1年のp. 18のようにイラストや写真がアイデアにあふれていて、具体的な手立てやヒントになるよう工夫されている。</p> <p>○題材の目標に即して、活動の具体的な手立てが示されていたり、直接書き込みながら学習できる部分もあつたり、児童が意欲的に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○共通教材以外にも歌い継がれている童謡や唱歌を取り入れたり、環境保護に関連した曲や友だちづくりの歌を取り入れたりしている。</p> <p>○音楽を通して、我が国の文化に対する理解を深め、更には諸外国の文化にも親しんでいけるよう配慮されている。</p> <p>○各学年とも文学と関わらせた「物語と音楽」を取り上げている。また、様々な合唱曲や合奏曲が紹介されており、実態や用途に応じて取り扱うことができるよう配慮されている。</p>	<p>○題材数、教材数ともに精選されていて、ゆとりをもって系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○一題材に表現と鑑賞の学習を関連付けながら、目標に迫っていくいくつかの教材によって構成されている。</p> <p>○児童の感性に訴えるような写真や挿し絵、イラストが数多く、大きく取り入れられている。</p>
	○題材の目標に対する児童の学習課題に共通事項が記載されている。また、3年以上では、「音楽のしくみ」として曲が成り立つしくみを学習し、音楽づくりとの関連を図っている。				

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○2学年分を一冊としている。分量は他社の8割程度である。</p> <p>○表紙裏には、大きく児童の活動風景を提示し、児童の意欲的な創作活動を触発している。</p> <p>○多くの選択肢の中から選ぶことができ、表現の系統性が理解しやすい。また、見通しをもって指導しやすく、弾力的な指導計画ができるよう配慮されている。</p>	<p>○教室内での多様な表現活動の展開に配慮し、「平面」の表現に関する記述を多くしている。</p> <p>○1・2年p.5,6「せんせいあのね」p61, 62「パレードパレード」のように、音楽や生活科との関連を示し、指導の効果を高める内容構成となっている。</p>	<p>○インデックスの工夫・リンク表示等、児童の利用のしやすさに配慮がされている。</p> <p>○3・4年p.36のように、作品の一部を拡大して表記し、作者の思いや工夫を強く伝えるための支援を行っている。</p>	<p>○「みんなの美術館」では、地域との関わりを図っている。</p> <p>○5・6年p.60「未来へ向かって」は、自分を見つめたり、将来について考えたりする学習であり、今までの学習のまとめ、中学校へのステップとなっている。巻末のコーナーも中学校学習内容との関連を図っている。</p> <p>○巻末では、『チャレンジひろば』を設け、昔から各地域に伝わる遊びも紹介し、日本の文化を大切にする配慮がされている。</p>	<p>○「○○ページもみよう。」のリンク表示や見開き右側のインデックスにより、類似の題材の参照が容易であり、弾力的な活用がしやすい。</p> <p>○各ページ右下の「パラパラまんが」にも見られるように、児童が手に取りたくなる工夫を凝らしている。</p>
	<p>○定型化した「めあて」「ふきだし」等の記載により児童や指導者の学習過程の円滑な進行を支援している。</p> <p>○表現では「平面」に、「鑑賞」では高学年に、それぞれ力点を置くなど選択と集中がされている。</p> <p>○5・6年p.22,54のように、リサイクルの画用紙づくりや、割り箸作品が紹介され、環境問題への対応の工夫がされている。</p> <p>○「染め物」「すみ絵」「編み物」「シーサーづくり」など、日本の美術、伝統工芸に関連付けた題材が紹介されている。</p>				
C	<p>○全体的に、原色を使った明るい大判の作品を多く紹介し、意欲的な創作活動を触発している。</p> <p>○目次から分かるように、5・6年では題材を選択できるようにして児童の意欲の喚起を図っている。</p> <p>○作者の意図や表現の方法の理解を支援するために、3年以上では作品一つひとつにコメントが添えられている。</p>	<p>○1・2年上p.21「てでさわってかくのきもちいい」のように「概念砕き」の作品例を提示し、児童の豊かな発想を促している。</p> <p>○中・高学年の「造形遊び」「立体」に関する記述が少なく、「平面」に関する記述が多い。3・4年下「絵の具で遊んで『自分のいろがみ』」のように技法の学習をもとに児童の創造性を広げて平面に表す指導内容に力点がおかれている。</p> <p>○全体として鑑賞に関する記述が充実している。</p>	<p>○各学年p.18,19「ひらめきコーナー」では、アイデアのつまった工作が紹介されており、つくることに関心をもたせている。</p> <p>○題材のタイトルが親しみやすく、児童の関心を高める効果がある。</p> <p>○目次の下に解説されているつきたい力を三種類の「マーク」で示し、「ふりかえり」で自己評価する紙面構成をとり、児童自身が何を学ぶのかが分かるよう工夫されている。</p>	<p>○1・2年上p.32「ゆめのまちさんちょうめ」や5・6年上p.20「見つけたことを話して見よう」のように、話し合いや共同作業によって、言語活動の大切さを意識した活動が行われるような構成となっている。</p> <p>○運動会等の学校行事や学級掲示との関わりとなる活動も紹介し、造形活動の広がり性を示している。</p>	<p>○全体として児童の主體的な創造活動・自由な発想の具体化を図った構成になっている。</p> <p>○「造形遊び」では基礎的な技法を、他の「表現」では主體的に発想を広げようとする内容構成になっている。</p> <p>○大判の作品・写真を示し、児童の感性を揺さぶる紙面構成となるよう工夫されている。</p>
	<p>○日本各地の工芸品や、祭りの美を紹介し、伝統や文化に目を向けさせるよう配慮されており、出雲竹人形が紹介されている。</p> <p>○各巻のp.6,7には著名な作家が登場し、児童たちに自分の思いを語り、児童の創作意欲の触発を図っている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

図画工作科 No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点				総 括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
M	<p>○大判の教科書であり, 紙面を活かして写真, 図版, 解説等, 情報量が多く, 基礎・基本を明確に伝える記述となっている。</p> <p>○「絵」「立体」「工作」「造形遊び」「鑑賞」の扱いを各ページ左上に色で分類して偏りがなく扱えるようになっている。</p>	<p>○1・2年下 p. 22「スルスルメカでビューン」のように, 一つのテーマから, 様々な表現ができることを示し, 児童の発想が広がるような構成になっている。</p> <p>○1・2年下 p. 14, 15「たのしいこと見つけた」のように, 日常生活の中にあるできごとを掘り下げて考えられるよう題材設定が工夫されている。</p>	<p>○発達の段階, 校種のつながりへの配慮, 5・6年下 p. 30, 31「12年後のわたし」のように, なりたい自分の表現等児童の生き方を考慮した内容の取扱いがされている。</p> <p>○5・6年下 p. 9のように, 作り方の手順を示した写真, イラストに加え, 追究の仕方のヒントになるコメントが添えられており, 児童が主体的に学習できるようになっている。</p>	<p>○1・2年上 p. 9, 30のように, 学級掲示, 当番活動, 生活科, 縦割り班活動とリンクさせた造形活動を紹介したり, 5・6年上では, p. 26のように地域への働きかけを明確に呼びかけたりしている。</p> <p>○一つの題材から多様な発想を引き出せるような「ふきだし」等の紙面の工夫がされている。</p>	<p>○全体として児童の主体性と基礎・基本の習得とのバランスを配慮した構成がされている。</p> <p>○優れた作品を提示することにより, 児童と指導者がより豊かなイメージをもって学習に取り組めるようになっている。</p>
	<p>○5・6年上下巻末のようにインターネット活用の手引きを載せ, 容易に入手できるアプリケーションソフトを使ったパソコンによる作品づくりや, ネットによる鑑賞学習への対応を図っている。</p> <p>○日本の伝統工芸品, 建造物, 墨絵などを積極的に紹介し, 伝統や文化を大切にする配慮がされている。</p> <p>○学習のめあてや「おもなようぐ」「くふう」「きをつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」「ふきだし」等を定型化して記載し, 児童や指導者の学習の展開を支援している。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

家 庭 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>Op. 2にあるように, 基礎技能が目次としてまとめられており, 児童が活用しやすいよう工夫されている。</p> <p>Op. 64, 65にあるように, 買い物のポイントや具体的な方法が筋道を追って実践的にわかりやすく示されおり, いろいろな買い方やプリペイドカードについても取り上げられ, 現代の消費生活との関連・対応に配慮されている。</p>	<p>Op. 8, 28にあるように, 「学習のめあて」「ふり返ろう」が設定されており, 問題解決的に学習を進めながら, 題材の終わりには自己評価できるよう配慮されている。</p> <p>Op. 27, 73にあるように, 「これだけはできるようになろう」を設定し, 「～ができる」という具体項目を挙げ, 基礎技能の定着を確認しながら学習が進められるよう工夫されている。</p>	<p>Op. 64, 65, 98, 99にあるように, 身近な生活の中から題材を取り上げ, 問題解決の方法を具体的に示しており, 主体的な学習へとつながる工夫がされている。</p> <p>Op. 84～93にあるように, 生活に役立つ物作りの作品例と製作過程・ポイントが多く取り上げられており, 作品作りへの意欲を高め, 今後の生活に生かせるよう配慮されている。</p>	<p>Op. 1にあるように, 2年間の学習を山登りに例え, 問題解決学習の筋道を示しながら, 他教科の関連学習例も挙げられており, 家庭科と4年までの学習とのつながりを分かりやすく示すよう工夫されている。</p> <p>Op. 28, 99にあるように, 「高齢者のかかわり」「地域の野菜の利用」などを取り上げることで, 身近な生活に目を向け, 家庭・地域の中でよりよい関わりを考え実践できるよう工夫されている。</p>	<p>Op. 45, 66, 70にあるように, 児童の言語活動の充実を考慮して, 図表・グラフ・発表例など活用できる資料が多く取り上げられている。</p> <p>○本文の記述や資料に加え, p. 44, 96, 97にあるように「プロの一言」「～からのアドバイス」が取り上げられており, より学習が深まるよう工夫されている。</p>
C	<p>Op. 16, 17, 90, 91にあるように, 製作の手順を見開きページで横に流れるように示すことで, 視覚的に理解できるよう配慮されている。</p> <p>Op. 39にあるように, 五大栄養素の体内での働きに合わせ, 食品グループとの関わりが同一ページに簡単にまとめられており, 食品に含まれている栄養素がイメージしやすいよう配慮されている。</p>	<p>Op. 12, 30, 50にあるように, 環境・安全・消費者・食育など学習を深めるマークに従って情報が示されており, 必要な情報を活用しながら学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>Op. 32, 69にあるように, 「できたかな」「ふり返ろう・生かそう」を設定し, 自己評価しながら学習を振り返ることができるよう工夫されている。</p>	<p>Op. 1にあるように, 2年間の見通しをもたせるガイダンスとして, 写真を用いて親しみやすくまとめられており, 学習意欲を喚起し, 興味をもって学習を進められよう工夫されている。</p> <p>Op. 88～92, 97にあるように, 製作例や調理例が多く紹介されており, それらを参考にしながら, 自分の思いにあった作品作りや調理ができるよう配慮されている。</p>	<p>Op. 46, 47にあるように, 地域の食材を生かした郷土料理や伝統料理に触れる活動を紹介することで, 地域の特色に目を向けることができるよう工夫されている。</p> <p>Op. 107～109にあるように, 2年間の学習を振り返り, 自分にできることをまとめることで, 家庭・地域の中でよりよい関わりを考え, 実践に生かせるよう工夫されている。</p>	<p>○全体を通して写真が多く用いられ, 視覚的に理解しやすく, またキャラクターにより学習のヒント等を示すことにより児童の学習の一助となるよう工夫されている。</p> <p>Op. 21, 47にあるように, 「ひとロメモ」「発展」として多くの情報を提供し, 児童の興味・関心に応じて課題を追究していけるよう工夫されている。</p>
	<p>Op. 15, 29にあるように, 「日本の伝統」「自由研究」のコーナーが設けられており, 発展的な調べ学習や実践例・日本の伝統にも触れられるよう配慮されている。</p> <p>○A B判を採用して図表, 写真等を豊富に掲載している。</p>				
	<p>Op. 84にあるように, 各題材の終わりに「チャレンジコーナー」が設けられ, 「おべんとうを作ろう」「そうじ名人になろう」など, 学習したことを生かして自主的に家庭生活で実践できるように工夫されている。</p> <p>○A B判を採用して図表, 写真等を豊富に掲載している。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

保 健 科 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
A	<p>○3・4年は内容が厳選されたゆったりとした紙面構成であり, 5・6年は学習に関連する情報が豊富に記載されている。また, 文字の大きさや写真, イラスト等の構成に工夫がされている。</p> <p>○学習した知識を活用して考えることができるように, 小单元ごとに「かつよう」の欄が設定してある。</p>	<p>○特に3・4年では, p.8のように, 自分の生活をチェックする欄があり, 自己との関わりで学習内容を捉えることができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年p.20では, 2つの絵を比較することにより, 危険を予測するための視点が学べるようになってきている。また, p.25の「広げよう」では, 学んだ知識を生かした安全マップ作成の方法が示してある。</p>	<p>○各単元の最初には「学習課題」, 小单元ごとには「考えてみよう」「話し合ってみよう」等, 教科書を活用しながら学んでいくための見通しが示してある。</p> <p>○各単元の最後の「広げよう」では, 個々の児童の興味・関心に応じて学んだ内容の補足ができ, 「学習をふり返ろう」では, 自己の健康課題の把握やその解決について考え, 実践ができるようになってきている。</p>	<p>○3・4年p.16では, 赤ちゃんの手形と靴の写真を掲載し, 現在の自分と比較することで発育していることを実感できるようにし, p.18,19では, 作業を通して個人差について実感を伴って学べるようになってい</p> <p>○5・6年p.49では, 小学校の保健領域で学んできた内容と健康三原則とを関連させながら, 生活習慣の改善について考えることができるようになってきている。</p>	<p>○3・4年, 5・6年ともに教科書の最初に保健学習をする意義が児童に語りかけるように示されている。</p> <p>○イラストや写真が豊富で, 児童にとって親しみやすいものになっている。</p> <p>○3・4年p.24「つなげよう」のように, 他教科等で関連して学習する内容が示されており, 全教育活動を通して計画的に指導していくことが意識されている。</p>
B	<p>○3・4年p.6,7のように, 自己との関わりで学習を捉えたり, 学習したことを生活に生かしたりしていくことができるように, 書き込み欄が豊富に設定してある。</p> <p>○児童の思考を促すための工夫として, 吹き出しによるキャラクターの言葉が随所に設定されている。</p>	<p>○5・6年p.13では「体ほぐしの運動」が取り上げてあり, 保健領域と運動領域との関連を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年の「交通事故によるけがを防ごう」では, 自転車を中心に取り上げながら, 人の行動や環境に関わって事故が発生する場合があることを学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の最初で保健に関するゲーム等によって学習への動機付けを行うなど, 楽しく学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○各小単元の最初には教科書を活用しながら学んでいくための見通しが示してある。特に5・6年では「話し合ってみよう」が多く設定されており, 話し合いを通して学習を進めていくよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年p.12,13のように, 学習内容に関連したアドバイス等が, 保健に関する専門家の声として数多く掲載されている。</p> <p>○3・4年p.21,22では, 児童の感想が紹介されており, 共感をもたらしながら体の変化に伴う不安を解消できるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年p.29の「やってみよう」のように, 学んだ知識を活用して考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○イラストが豊富で, 児童にとって親しみやすいキャラクターが用いられている。</p> <p>○3・4年, 5・6年それぞれのp.3「はってん」では, 保健で学習するように決められている以外の内容であることが明記され, 内容は今日的課題を取り上げている。また, 5・6年p.44,45のように児童の心に訴えかける内容となっている。</p>
	<p>○欄外の学習内容に関連した補足説明がしてある。また, 学習内容に関連した機関等のホームページアドレスが紹介してあり, 興味・関心をもった児童が発展的な学習に自主的に取り組むことができるように配慮されている。</p>				
	<p>○欄外の「ミニちしき」では, 学習内容と関連した日常生活に役立つコメントや, 学習内容を補足する説明が豊富に掲載されている。</p> <p>○5・6年p.27~40「資料」のように, 学習と関連した内容が読み物として紹介してあり, 児童の興味・関心に応じて学習を深めていくことができるようになってきている。</p>				

選 定 に 必 要 な 資 料

保 健 科 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
N	<p>○3・4年p.4のように単元のはじめに自分の生活を振り返るチェック欄があり, 児童の身近な問題として学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○各小単元の終わりには, 養護教諭等の言葉が他の記述より大きな文字で示され, 学習のまとめとして活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○児童の理解の助けとなるように写真やグラフ, 記述内容が豊富である。</p> <p>○5・6年のp.10,11のように書き込み欄が多く, 自分の考えをはっきりもって学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年のp.34,35のように写真やイラスト, 比較のための図などを多用し, 「たばこの害」を分かりやすく学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○単元のまとめでは, 学習したことを振り返りながら, 自分の考えを書き込むことで, 今後の生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○3・4年p.8や5・6年p.19のように「やってみよう」では学習したことをもとに, 実生活で実践したり, 地域に目を向けたりすることができるような働きかけがされている。</p>	<p>○3・4年p.23では「体のよりよい発育」について, 気球の中に示されたことを実践すると気球が上昇するように発育していくことが分かりやすく示されている。</p> <p>○5・6年のp.25のように「情報コーナー」や「発展」の欄を設け, より深く学習が進められるように配慮されている。</p>	<p>○同一のキャラクターが課題を提示したり, 説明をしたり, まとめを促すなど, 統一感がありすっきりとまとまっている。</p> <p>○書き込み欄, チェック欄が随所に配置されている。5・6年ではp.2やp.22のように学習後再度確認をし, 自己の学習成果が確認できるよう工夫されている。</p>
<p>○絵や写真, グラフ, キャラクターなどが多数用いられ, 適切に配置されており, 児童が興味をもって学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○発展的に学習する内容も示されており, より深く学習できるよう工夫されている。</p>					
O	<p>○5・6年p.12,13では, 学校の生活と家での生活の様子をイラストで表現し, 生活の中でけがが起りそうな場面を想起できるよう工夫されている</p> <p>○5・6年p.20,21では記述内容を厳選し, イラストをもとに学習が進められるよう工夫されている。</p>	<p>○5・6年p.21では, 「こんなときどうする?」と問いかけ, 自分の考えを記述することにより, 自分の生活と関連付けて安全な行動が考えられるよう工夫されている。</p> <p>○3・4年生p.14では, 文字を大きくしたり, ゴシック体で表したりするなど, 大切なポイントを示し, 学習内容が理解しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年p.10では, チェック欄を設け「体のせいけつ」について自分の生活と関連させて学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年p.35では, 自分の生活をチェックするとともに「よい生活習慣を身につけるために心がけたいこと」を記述することにより, 実生活に生かされるよう工夫されている。</p>	<p>○3・4年p.26~28では, 「食事」「運動」「休養・すいみん」について各1ページずつ取り上げてあり, その重要性がより理解できるようにしてある。また, この学習との関連で, p.29「知ってる?」のコーナーでは, 「早寝・早起き・朝ごはん」が紹介されている。</p> <p>○5・6年p.28では, かぜや熱中症を例にしながら, 学習した知識を活用して考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○イラストやカラー写真が豊富で視覚的に内容が捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○「知ってる?」では, 学習内容と関連した今日的な課題が掲載されており, 興味をもって読み進めたり, 自ら取り組んだりできるようになっている。</p>
<p>○「はってん」の欄を設け, より深く学習できるよう工夫されている。5・6年p.23では, ネットモラル等について注意すべきことを示しており, 子どもたちの現状を踏まえた内容を盛り込んでいる。</p>					

選 定 に 必 要 な 資 料

保 健 科 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点				総括 (感性をはぐくむ要素を含む)
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	
P	<p>○各ページに学習内容と関連した情報を豊富に掲載し, 様々な事項を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○3・4年p. 11のように, イラストをもとにして話し合うなど具体的な資料やイラストを効果的に提示している。</p> <p>○5・6年p. 34のように, カラー写真で比較が行われ, 学習内容が分かりやすく示されている。</p>	<p>○単元のはじめに「ここで学ぶこと」として学習内容が明示されており構成が分かりやすい。</p> <p>○5・6年p. 26, 27ではインフルエンザと食中毒を詳しく取り上げるとともに, p. 29では新型インフルエンザにも触れ, 現在の状況に合った教材が選択されている。</p>	<p>○3・4年p. 2のように自己の生活と結び付けながらチェックを行うなど, 学習への動機付けができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年p. 35のように, 発展的な内容が紹介されており, 関心のある児童がより深く広く学習できるよう配慮されている。</p>	<p>○「やってみよう」として実演や実習の内容が取り上げられ, 学んだことを生活の中でより確かなものにしていくことができるよう配慮されている。</p> <p>○3・4年p. 17, 19では体の変化について児童の感想に併せて大人の話も紹介され, 思春期の不安を解消するよう工夫されている。</p> <p>○3・4年p. 22では食育に関することやおべんとう作りについて取り上げ, 今日的課題に対応している。</p>	<p>○3・4年, 5・6年ともに, 表紙裏には健康について学ぶ意義や学んだことを実践していくことの大切さが語りかけるように示してある。</p> <p>○文字の大きさ, 色, 書体が読みやすく工夫され, イラストや写真が豊富で分かりやすい。</p> <p>○「?」, 「やってみよう」などのマークを使い, 内容を分かりやすく示している。</p>
	<p>○欄外に関連施設のホームページアドレスが紹介されるなど, 関連事項が多く取り上げられており, 発展的に学習を進めるのに役立つよう工夫されている。</p>				